

東京都における障害者歯科保健医療の方向性

「今後の障害者等歯科保健医療対策のあり方について」

(東京都歯科保健対策推進協議会報告書)(平成18年6月)

【今後の方向性】

1 歯科医療連携システムの充実と地域ケア体制のあり方

障害者や要介護高齢者等が、できる限り身近な所で歯科治療や継続的な歯科健康管理を受けられるよう歯科医療連携システム及び地域ケア体制を構築することが大切である。

2 東京都保健所における今後の地域支援体制のあり方(多摩地域)

これまで行ってきた障害者施設を対象とした歯科健診等の直接的サービスについては、障害者のかかりつけ歯科医定着など一定の成果が得られたことから、今後は障害者施設への支援強化などへとシフトさせる。

3 都立心身障害者口腔保健センターの今後の役割

今後、障害者等に対する歯科医療連携システムにおける中心的役割(センター・オブ・センター)を担うための機能の充実・強化を図っていく。

東京都における障害者歯科保健医療の取組

- ◆ 都保健所障害者等歯科保健医療推進対策事業
- ◆ 都立心身障害者口腔保健センターの運営
- ◆ 心身障害児施設歯科診療事業運営費補助 など

東京都の障害者歯科保健医療対策について

都保健所障害者等歯科保健医療推進対策事業(平成19年度～)

- 重度・難症例相談
障害者施設利用者、在宅障害者等を対象に、歯科相談や歯科保健指導などを通じての支援を実施
- 障害者等歯科支援
 - ①市町村職員、施設職員、家族・介護者、医療関係者等を対象に、歯科保健活動の技術向上を図る研修、講習会、事例検討、実技指導等を実施
 - ②障害者施設等を対象に、歯科保健状況の診断、問題解決の支援、関係機関との連携支援などを実施
- 障害者等歯科保健医療推進基盤整備
市町村、歯科医師会、医師会、病院歯科、学校、障害者施設等からなる関係機関連携の協議を実施
- 摂食・嚥下機能支援基盤整備
市町村、歯科医師会、医師会、基幹病院、訪問看護ステーション、高齢施設等からなる関係機関連携の協議を実施。また、事例検討を通じた広域にわたる多職種間の連携づくりを実施

【平成26年度実績(都保健所合計)】

事項	実施回数	実施人数等
重度難症例相談	40回	316人
障害者等歯科支援(研修、講習会等)	34回	1,392人
障害者等歯科支援(施設対象)	42回	37施設
障害者等歯科保健医療推進基盤整備	26回	—
摂食・嚥下機能支援基盤整備(会議・連絡会)	11回	83機関

 施設や市町村への支援の強化

東京都の障害者歯科保健医療対策について

心身障害児施設歯科診療事業運営費補助(昭和52年度～)

➤ 目的

心身障害児(者)を対象とした、極めて困難な歯科診療事業を実施している心身障害児施設に対し、その運営に要する経費を補助することにより、心身障害児(者)の歯科診療体制の確保を図る

➤ 補助概要

一般治療及び全身麻酔下治療を、歯科医師、麻酔医、看護師、歯科衛生士で構成する診療体制で行った場合に対し、1日当たりの補助基準額に応じて補助を行う

【平成26年度補助対象実績】

事項	規模等
対象施設	7施設
治療日数(補助対象)	353日
(うち全身麻酔下治療日数)	(93日)
一般治療患者数(補助対象)	3,457人
全身麻酔下治療患者数(補助対象)	95人



地域で重度・難症例に対応する
施設への支援の強化

(参考)【対象施設(7施設)の診療実績(全体)の推移】

事項	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
治療日数	1,409日	1,338日	1,343日	1,385日	1,389日
一般治療患者数	16,502人	16,521人	16,712人	16,791人	14,395人
全身麻酔下治療患者数	222人	243人	177人	216人	213人

東京都の障害者歯科保健医療対策について

都立心身障害者口腔保健センターの運営(昭和59年度～)

- 設置目的
障害者が住み慣れた身近な地域で、安心して歯科診療を受けられることを目指し、地域で治療困難な重度・難症例の心身障害児(者)を対象とした歯科診療の実施、また、口腔保健の向上を図るための教育研修や調査研究を行う。
- センターの機能
 - 【診療部門】 歯科診療(一般歯科、小児歯科、矯正歯科、全身麻酔法・静脈内鎮静法下での治療など)
 - ・口腔健康管理・指導(機械的歯面清掃、歯石除去、フッ素塗布などのプロフェッショナルケア、生活習慣指導、歯磨きやうがいの自立支援など)
 - 機能療法(摂食嚥下機能療法、言語聴覚療法)
 - ・相談・指導(栄養士による食生活全般についての相談・指導)
 - 【教育研修】 個別研修(歯科医師・歯科衛生士を対象に、障害者歯科医療の実践に役立つ臨床実習を中心とした研修)
 - ・集団研修(障害者に係わる様々な職種(学校教職員、施設職員、看護師、保健師、ケアマネージャー等)や保護者、介護者等を対象に、講義を中心とした研修)
 - ・地域派遣研修(障害者に係わる学校教職員、施設職員、保護者等を対象に、地域に出向いた講義を中心とした研修)
 - 【情報管理】 障害者歯科医療に役立つ情報発信など
- 今後のセンターの役割(次期指定管理(平成28年度～平成33年度)に向けての方向性)
地域との連携を一層推進し、専門性の高い歯科医療を提供する都のセンター機能を強化していく。
 - 【方針1】 行政的機能の充実
 - 【方針2】 患者の状態に応じた適切な診療の提供
 - 【方針3】 患者サービスの向上

【事業実績の推移】

事業実績		平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
診療実績	年間患者数	17,349人	16,876人	16,568人	16,732人	16,614人
	(うち、全身麻酔患者数)	153人	164人	149人	150人	141人
	(うち、静脈内鎮静法患者数)	196人	139人	34人	26人	34人
	返送患者数	41人	32人	31人	24人	25人
研修実績	アドバンスコース修了者	309人	300人	291人	286人	279人
情報管理実績	医療連携協力歯科医	102人	100人	90人	89人	84人

【歯科口腔保健の推進に関する法律】

第15条 都道府県、保健所を設置する市及び特別区は、口腔保健支援センターを設けることができる。

2 口腔保健支援センターは、第7条から第11条までに規定する施策の実施のため、歯科医療等業務に従事する者等に対する情報の提供、研修の実施その他の支援を行う機関とする。

(参考)

第7条 歯科口腔保健に関する知識等の普及啓発等

第8条 定期的に歯科検診を受けること等の勧奨等

第9条 障害者等が定期的に歯科検診を受けること等のための施策等

第10条 歯科疾患の予防のための措置等

第11条 口腔の健康に関する調査及び研究の推進等

【都道府県における設置状況】(平成26年7月末現在)

設置状況	都道府県数(か所)
設置済	13
設置予定	6
設置なし	28

(厚生労働省医政局歯科保健課調べ)

【8020運動・口腔保健推進事業実施要綱】(国庫補助事業)

口腔保健推進事業

第1 口腔保健支援センター設置推進事業

(目的) 口腔保健支援センターの設置の推進を図ること

(実施主体) 都道府県、政令市及び特別区

(業務内容) 支援センターの運営等事業

(補助条件) 支援センターを運営するに当たり、第2のいずれかの事業を合わせて実施し、以下の条件を満たすもの

(1) 支援センターは、都道府県、政令市及び特別区において口腔保健に関連する部署と調整するための行政組織(機能)とする。

(2) 支援センターには、常勤又は非常勤の歯科医師1名、歯科専門職(歯科医師及び歯科衛生士)1名以上、合計2名以上配置するものとする。

(3) 支援センターにおいては、地域の保健、医療、社会福祉、労働衛生、教育その他の関係者により構成される協議・検討組織を設け、地域の状況を踏まえた歯科口腔保健法第7条から第11条までに規定する施策の具体策に取り組むものとする。

(4) 支援センターの取組は、都道府県健康増進計画その他の法律の規定による計画であって保健、医療又は福祉に関する事項を定めるものと調和が保たれたものとする。

第2 口腔保健の推進に資するために必要となる事業

I 歯科疾患予防事業

II 歯科保健医療サービス提供困難者への歯科保健医療推進事業

III 障害者等歯科医療技術者養成事業

IV 調査研究事業

V 医科・歯科連携等調査実証事業

区市町村別障害者歯科医療資源の状況

1 病院

地区名		歯科(歯科、小児歯科、矯正歯科、歯科口腔外科)を標榜する病院								備考	参考(地区口腔保健センター設置状況)
医療圏名	区市町村名	病院数	(うち、回答数)	障害者歯科診療		全身麻酔		静脈内鎮静法			
				実施病院数	患者数	実施病院数	患者数	実施病院数	患者数		
区中央部	千代田区	6	5	3	2,222	3	498	3	649	障害者歯科、全麻、鎮静法実施病院のうち、患者数については1か所未集計	
	中央区	2	1	1	3,491	1	41	1	7		
	港区	7	6	1	435	1	-	0	0	全麻実施病院の患者数については未集計	港区口腔保健センター
	文京区	6	5	1	6,222	1	-	1	-	全麻、鎮静法実施病院の患者数については未集計	文京区文京保健所保健サービスセンター
	台東区	1	0	0	0	0	0	0	0		三ノ輪口腔ケアセンター
区南部	品川区	3	2	1	-	1	-	1	-	実施病院の患者数については未集計	
	大田区	5	5	4	2,440	4	53	4	506	障害者歯科、全麻、鎮静法実施病院のうち、患者数については3か所未集計	
区西南部	目黒区	2	1	0	0	0	0	0	0		八雲あいアイ館歯科診療所
	世田谷区	6	6	5	16,698	1	58	2	155		公益社団法人東京都世田谷区歯科医師会口腔衛生センター 歯科診療所
	渋谷区	2	1	0	0	0	0	0	0		渋谷区歯科医師会渋谷区口腔保健支援センタープラザ歯科診療所
区西部	新宿区	7	6	4	177	2	334	2	46	障害者歯科実施病院のうち、患者数については1か所未集計	
	中野区	2	1	0	0	0	0	0	0		一般社団法人東京都中野区歯科医師会スマイル歯科診療所
	杉並区	1	1	1	0	0	0	0	0		杉並区歯科保健医療センター
区西北部	豊島区	1	1	0	0	0	0	0	0	障害者歯科に関する回答欄はすべて未記入	あぜりあ歯科診療所
	北区	2	1	1	5,860	0	0	1	213		一般社団法人東京都滝野川歯科医師会北区障害者口腔保健センター
	板橋区	7	6	3	5,078	2	9	1	-	障害者歯科、全麻、鎮静法実施病院のうち、患者数については1か所未集計	板橋区歯科衛生センター
	練馬区	3	3	1	1,204	0	0	0	0		練馬つつじ歯科休日急患診療所
区東北部	荒川区	1	1	1	-	0	0	0	0	障害者歯科実施病院の患者数、全麻、鎮静法実施、患者数については未記入	
	足立区	9	9	8	2,175	0	0	1	2	障害者歯科実施病院のうち、患者数については1か所未記入	公益社団法人東京都足立区歯科医師会口腔保健センター
	葛飾区	2	1	1	657	0	0	0	0	全麻、鎮静法実施、患者数については未記入	葛飾区歯科医師会附属ひまわり歯科診療所 社団法人葛飾区歯科医師会たんぼ歯科診療所
区東部	墨田区	4	2	2	11,040	1	33	1	13		
	江東区	5	5	2	5,244	1	59	0	0		
	江戸川区	1	0	0	0	0	0	0	0		江戸川区口腔保健センターにこここ歯科診療所
区部計		85	69	40	62,943	18	1,085	18	1,591		16

歯科診療科を標榜する病院等調査(平成27年5月医療政策課実施)より

医療 圏名	地区名 区市町村名	歯科(歯科、小児歯科、矯正歯科、歯科口腔外科)を標榜する病院								備考	参考(地区口腔保健センター設置状況)
		病院数	(うち、 回答数)	障害者歯科診療		全身麻酔		静脈内鎮静法			
				実施病院数	患者数	実施病院数	患者数	実施病院数	患者数		
南多摩	八王子市	14	14	12	11,517	2	1	3	4	全麻、鎮静法実施病院のうち、患者数については1か所未 集計	八南歯科医師会休日応急障害者歯科八王子市診療 所
	日野市	1	1	1	-	1	-	1	-	実施病院の患者数については未集計	
	多摩市	3	3	2	4,651	1	25	0	0		八南歯科医師会休日応急障害者歯科多摩市診療所
	稲城市	1	1	1	677	0	0	0	0		
	町田市	4	4	3	1,424	1	17	1	13		休日歯科・障がい者歯科応急診療所
北多摩 西部	立川市	2	1	1	33	0	0	0	0		
	武蔵村山市	3	3	3	4,932	1	52	0	0	障害者歯科を実施している病院のうち、全麻、鎮静法実施 については1か所未記入	
	昭島市	3	3	2	45	1	-	1	-	障害者歯科実施病院のうち、患者数については1か所未集 計。全麻、鎮静法実施病院の患者数については未集計	
	国立市	0	0	0	0	0	0	0	0		国立市歯科医師会さくら休日歯科診療所
	国分寺市	0	0	0	0	0	0	0	0		
	東大和市	1	1	1	7,213	1	157	0	0		
北多摩 南部	武蔵野市	1	1	1	-	1	36	0	0	障害者歯科実施病院の患者数は未集計	
	三鷹市	3	3	2	3,747	1	-	1	-	障害者歯科実施病院のうち、患者数について1か所未集 計。全麻、鎮静法実施病院の患者数は未集計	
	府中市	4	4	3	2,743	2	20	3	94	障害者歯科、全麻、鎮静法実施病院のうち、患者数につい て1か所未集計	
	調布市	1	1	1	734	0	0	0	0		小島町歯科診療所
	狛江市	1	1	0	0	0	0	0	0	障害者歯科等実施については未記入	
	小金井市	1	1	1	638	0	0	0	0		
北多摩 北部	小平市	6	6	6	10,300	3	111	2	-	全麻、鎮静法実施病院のうち、患者数について2か所未集 計	
	東村山市	4	3	2	2,994	0	0	0	0	障害者歯科実施病院のうち、全麻、鎮静法実施については 未記入	
	西東京市	1	1	1	2,706	0	0	0	0		
	東久留米市	0		0	0	0	0	0	0		
	清瀬市	3	3	3	2,310	1	-	1	-	障害者歯科実施病院のうち、患者数未集計1か所、未記入 1か所。全麻、鎮静法実施病院の患者数は未集計	
西多摩	青梅市	5	5	4	6,044	0	0	0	0		
	奥多摩町	0		0	0	0	0	0	0		
	福生市	1	1	0	0	0	0	0	0		
	瑞穂町	0		0	0	0	0	0	0		
	羽村市	0		0	0	0	0	0	0		
	あきる野市	1	1	0	0	0	0	0	0		
	日の出町	0		0	0	0	0	0	0		
	檜原村	0		0	0	0	0	0	0		
多摩部計	64	62	50	62,708	16	419	13	111		5	
区部・多摩部計	149	131	90	125,651	34	1,504	31	1,702		21	

2 歯科診療所

地区名		歯科診療所数 (H27東京の歯 科保健より)	障害者への対応(診療所数) (東京都医療情報システムより)					
医療圏名	区市町村名		身体障害者		知的障害者		精神疾患患者	
区 中央部	千代田区	351	59	16.8%	38	10.8%	27	7.7%
	中央区	436	72	16.5%	51	11.7%	30	6.9%
	港区	592	133	22.5%	101	17.1%	44	7.4%
	文京区	236	87	36.9%	63	26.7%	37	15.7%
	台東区	237	71	30.0%	62	26.2%	32	13.5%
区 南部	品川区	345	111	32.2%	99	28.7%	45	13.0%
	大田区	555	182	32.8%	161	29.0%	94	16.9%
区 西南部	目黒区	281	88	31.3%	72	25.6%	48	17.1%
	世田谷区	755	218	28.9%	188	24.9%	102	13.5%
	渋谷区	423	72	17.0%	55	13.0%	39	9.2%
区 西部	新宿区	431	103	23.9%	70	16.2%	39	9.0%
	中野区	257	74	28.8%	58	22.6%	40	15.6%
	杉並区	428	132	30.8%	100	23.4%	62	14.5%
区 西北部	豊島区	314	76	24.2%	60	19.1%	36	11.5%
	北区	252	75	29.8%	57	22.6%	36	14.3%
	板橋区	349	117	33.5%	94	26.9%	59	16.9%
	練馬区	460	173	37.6%	127	27.6%	74	16.1%
区 東北部	荒川区	144	42	29.2%	30	20.8%	24	16.7%
	足立区	384	137	35.7%	112	29.2%	66	17.2%
	葛飾区	268	108	40.3%	92	34.3%	44	16.4%
区 東部	墨田区	186	56	30.1%	48	25.8%	26	14.0%
	江東区	295	106	35.9%	80	27.1%	40	13.6%
	江戸川区	359	122	34.0%	99	27.6%	53	14.8%
区部計		8,338	2,414	29.0%	1,917	23.0%	1,097	13.2%

地区名		歯科診療所数 (H27東京の歯 科保健より)	障害者への対応(診療所数) (東京都医療情報システムより)					
医療圏名	区市町村名		身体障害者		知的障害者		精神疾患患者	
南 多摩	八王子市	286	119	41.6%	95	33.2%	61	21.3%
	日野市	85	36	42.4%	28	32.9%	13	15.3%
	多摩市	63	29	46.0%	26	41.3%	20	31.7%
	稲城市	38	11	28.9%	8	21.1%	7	18.4%
	町田市	219	89	40.6%	83	37.9%	43	19.6%
	北 多摩 西部	立川市	117	37	31.6%	32	27.4%	22
武蔵村山市		26	12	46.2%	13	50.0%	1	3.8%
昭島市		62	23	37.1%	24	38.7%	14	22.6%
国立市		73	30	41.1%	25	34.2%	9	12.3%
国分寺市		75	31	41.3%	31	41.3%	24	32.0%
北 多摩 南部	東大和市	41	17	41.5%	14	34.1%	7	17.1%
	武蔵野市	150	44	29.3%	37	24.7%	20	13.3%
	三鷹市	96	41	42.7%	34	35.4%	16	16.7%
	府中市	141	54	38.3%	47	33.3%	24	17.0%
	調布市	152	69	45.4%	64	42.1%	37	24.3%
北 多摩 北部	狛江市	39	14	35.9%	14	35.9%	8	20.5%
	小金井市	64	26	40.6%	19	29.7%	11	17.2%
	小平市	100	29	29.0%	25	25.0%	15	15.0%
	東村山市	66	33	50.0%	24	36.4%	18	27.3%
	西東京市	120	40	33.3%	34	28.3%	21	17.5%
	東久留米市	57	17	29.8%	13	22.8%	8	14.0%
	清瀬市	36	13	36.1%	12	33.3%	10	27.8%
西 多摩	青梅市	63	22	34.9%	20	31.7%	13	20.6%
	奥多摩町	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	福生市	32	9	28.1%	7	21.9%	6	18.8%
	瑞穂町	11	5	45.5%	3	27.3%	1	9.1%
	羽村市	32	17	53.1%	14	43.8%	12	37.5%
	あきる野市	42	19	45.2%	20	47.6%	9	21.4%
	日の出町	7	3	42.9%	2	28.6%	1	14.3%
	檜原村	-	0		0		0	
多摩部計		2,295	889	38.7%	768	33.5%	451	19.7%
区部・多摩部計		10,633	3,303	31.1%	2,685	25.3%	1,548	14.6%

平成 27 年度地区口腔保健センター等事業調査

-平成 27 年度区市町村歯科保健医療関係事業実施状況調査より-

1 目的

歯科保健事業推進の基礎資料とするため、毎年、区市町村歯科保健医療関係事業実施状況調査を実施している。

平成 27 年度地区口腔保健センター等事業調査は、平成 27 年度区市町村歯科保健医療関係事業実施状況調査の一環（調査票 4）として実施したものである。

2 対象及び方法

(1) 対象

都内の 62 区市町村を対象とした。

(2) 実施方法

各区市町村宛てに調査用紙を送付し、平成 27 年 5 月 29 日を期限として回収した。

調査基準日は原則として、平成 27 年 4 月 1 日としたが、実績については平成 26 年度実績とした。

(3) 調査項目

別添調査票 4 のとおり

3 調査結果の概要

①施設概要について・・・別紙 1 参照

②事業内容について・・・別紙 2 参照

(要旨)

- ア. 摂食嚥下訓練を実施している施設は 11 施設で、延べ 831 人（9 施設から延べ人数回答あり）が訓練を受けていた。
- イ. 麻酔・鎮静方法については、全身麻酔（2 施設・延べ 23 人）、静脈内鎮静法（2 施設・延べ 231 人）、吸入鎮静法（2 施設・延べ 56 人）であった。
- ウ. 専門医や大学からの歯科医師派遣を受けている施設や、医師・看護師・栄養士等の歯科専門職以外の職種が勤務している施設があった。
- エ. 訪問診療の拠点となっている施設が 10 施設あり、延べ 3577 人（うち 5 施設から延べ人数回答あり）が訪問を受けていた。

地区口腔保健センター等の施設概要

別紙 1

平成27年4月1日現在

名称	郵便番号・所在地	診療日等	対象者
文京区文京保健所保健サービスセンター	112-0003文京区春日1-16-21文京シビックセンター3階	土曜日13:00～17:00	障害者手帳をお持ちの方・特別支援学級等に通学している方・保育園等で特別な配慮を必要としている方など
三ノ輪口腔ケアセンター	110-0011台東区三ノ輪1-27-11三ノ輪福祉センター8階	土曜日10:00～13:00 14:00～17:00	区内在住の要介護高齢者
八雲あいアイ館歯科診療所	152-0023目黒区八雲1-1-8 目黒区心身障害者センター	火曜日9:00～13:00 木曜日9:00～13:00、14:00～18:00 土曜日14:00～18:00	区内在住・在勤・在学で「身体障害者手帳」又は「愛の手帳」所持者で、歯科治療や予防処置などが必要であり、一般の歯科医院での治療が困難と思われる方
世田谷区口腔衛生センター	156-0043世田谷区松原6-4-1	月曜日・木曜日・第2水曜日9:00～12:00 第2・3木曜日13:00～16:00	区内に居住・通学・通学している心身障害者の方で、一般の歯科診療施設で診療が受けられない患者
渋谷区歯科医師会 渋谷区口腔保健支援センタープラザ歯科診療所	150-0011渋谷区東3-14-13	土曜日9:00～17:00	区内在住者で障害者や高齢者等で、一般の歯科診療所では治療を受けることが困難な者
スマイル歯科診療所	164-0001中野区中野5-68-7 社会福祉会館7階	日曜日9:00～12:00、水曜日9:00～12:00 木曜日13:00～16:00	中野区在住で、一般の歯科医療機関では診療を受けにくい障がい者及び要介護高齢者
杉並区歯科保健医療センター	167-0051杉並区荻窪5-20-1 杉並保健所・杉並区立保健医療センター5階	火～土曜日9:00～12:00、13:00～17:00	区内在住で、病気や障害のために一般の歯科診療所での治療が難しい方
公益社団法人東京都豊島区歯科医師会豊島区口腔保健センターあぜりあ歯科診療所	170-0013豊島区東池袋1-20-9 池袋保健所6階	木曜日9:00～12:00、土曜日13:00～17:00	心身障害者及び通院可能な要介護高齢者
北区障害者口腔保健センター	114-0023北区滝野川滝野川西6-21-25 区民センター2階	月～金曜日9:30～12:00、13:30～17:00	心身に障害のあり身体障害者手帳や療育手帳をお持ちの方。または、普通の歯科医院では受診が困難な方
板橋区歯科衛生センター	174-0071板橋区常盤台3-3-3	土曜日 13:00～17:00	区内在住の心身障がい児(者)及び在宅寝たきりの高齢者等
練馬つつじ歯科休日急患診療所	176-8501練馬区豊玉北6-12-1 練馬区役所東庁舎3階	<一般診療> 木曜日9:00～13:00 14:00～17:00 土曜日9:00～12:00 13:00～17:00 <摂食・えん下りハ> 外来:第2・4火曜日・その他の火曜日のうち1回(3月を除く)、 訪問:水曜日(毎月4回) 診療時間は 共に9:00～13:00	心身障害児(者)、要介護高齢者
公益社団法人東京都足立区歯科医師会口腔保健センター	120-0034足立区千住1-5-5	木曜日・土曜日9:00～13:00	区内在住、18歳未満で軽・中度の障害がある方(家族同伴により通院できる方)
葛飾区歯科医師会附属ひまわり歯科診療所	125-0062葛飾区青戸7-1-20	土曜日14:00～17:00、日曜日9:30～12:30	区内在住の障害児・者
葛飾区・葛飾区歯科医師会 たんば歯科診療所	125-0061葛飾区亀有2-23-10	土曜日14:00～17:00、日曜日9:30～12:30	区内在住の、原則として65歳以上の在宅寝たきりの者固定診療方式と訪問診療方式の二本立て
江戸川区口腔保健センター にここ歯科診療所	134-0013江戸川区江戸川5-14-4	火曜日～土曜日9:00～12:00、13:00～16:00	心身障がい児・者、要介護高齢者
港区口腔保健センター	108-8315港区三田1-4-10 みなと保健所2階	第2土曜日 9:00～13:00 第4土曜日 13:00～17:00	区内在住の障害者・障害児
調布市小島町歯科診療所	182-0026調布市小島町3-68-10	木曜日 14:00～16:00、金曜日9:00～11:00 第2火曜日9:00～11:00(初診受付行わず)	市内在住で一般の歯科診療所では治療が困難な障害のある方
国立市さくら休日歯科診療所	186-0003国立市富士見台3-16-17 国立市歯科医師会館内	月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～15:00	障害児(者)・要介護高齢者
休日歯科・障がい者歯科応急診療所	194-0013町田市原町田5-8-21 町田市健康福祉会館	水・木曜日 9:00～12:00、13:00～17:00	障がいをお持ちの方、要介護高齢者の方、有病高齢者の方など、一般診療所で診療を受けにくい方
八南歯科医師会休日応急・障害児多摩市診療所	206-0011多摩市関戸4-19-5 多摩市立健康センター内	水曜日・木曜日 9:00～13:00 摂食嚥下診療は第2水曜日13:30～16:00	原則として、多摩市在住の障がい児又は障がい者等で、一般歯科診療所において治療を受けることが困難な者
八南歯科医師会休日応急・障害者歯科八王子市診療所	193-0931八王子市台町4-33-13 小児・障害者 けいけい夜間救急棟2階	水曜日・木曜日 9:30～13:30	障害などにより一般の歯科医療機関での診療が難しい方

地区口腔保健センター等の事業内容 (平成26年度実績)

	基本情報					診療日数/週	障害者等歯科診療					再掲		麻酔・鎮静方法			歯科診療 エッセイ台数	備考	
	摂食嚥下 訓練	訪問	定期健診	研修	医療連携 窓口		知的障害 (A)	身体障害 (B)	精神障害 (C)	要介護 高齢者 (65歳以上) (D)	その他 (E)	合計 ((A)~(E) の合計)	摂食・ 嚥下訓練 (F)	訪問 (G)	全身麻酔 (H)	静脈内鎮静法 (I)			吸入鎮静法 (J)
1	○	×	○	○	○	(半日×1)/週					238						2		
2	○	×	×	○	○	(1日×1)/週	1	12	19	502	5	539	98	0	0	0	0	1	ケアカンファレンスに57回参加
3						(1日+半日×2)/週	239	192				431						2	
4	×	×	×			(半日×3*)/週						1180						3	指導医1、麻酔医1、一般歯科医3
5	×	×	○	○	×	(1日×1)/週	207	82	12	7	299	607						2	
6	○	○	○			(半日×3)/週						1558		10				4	専門医・協力医を190日/年配置
7	○	○			○	(1日×5)/週						6874	123	2120	0	54	0	3	
8	○	○	○	○	○	(半日×2)/週	540	207	153	3163	1471	5534	63	541	0	0	43	4	
9	○	○	○	○	○	(1日×5)/週	739	1048		178	324	2289	33					3	歯科医師 常勤1、その他9(週1日)
10	×	○				(半日×1)/週		827		258		1085		258				4	
11	○	○	×			(1日×2+半日×2*)/週						3114	271					5	栄養士シフト勤務あり
12	×	×	○			(半日×2)/週						1173						2	
13	○	×				(半日×2)/週						1405	30					4	歯科技工士勤務あり
14	×	○				(半日×2)/週				1249		1249		563				3	歯科医師 固定(2)、訪問(2)、歯科技工士・看護師・ 医師・運転手勤務あり
15	○	○	×	○	○	(1日×5)/週						3473	186	95	13	177	13	5	歯科医師 非常勤(1×週4日)、大学教授等 (12)、歯科医師会会員(32)
16	×	×	○			(半日×2)/月	15	9	3	0	0	27	1	0	0	0	0	1	H26年度途中開設のため実績は6か月分
17	×	×	×			(半日×2*)/週	617	90	16		36	749						2	
18		○				(1日×5)/週				2		2						3	
19	○	○	○			(1日×2)/週						2459						3	歯科医師 常勤1、その他4(週2日・歯科医師会 会員で当番制)
20	○	×	○			(半日×2*)/週	1064	118	20	103	6	1311	26					4	
21						(半日×2)/週						1457						4	
合計	11	10	8	6	6		3422	2585	223	5462	2141	36754	831	3577	23	231	56	64	

2 事業内容について

(1)スタッフの配置状況

歯科医師	常勤	人	常勤以外	人	(週日勤務)
	備考欄:				
歯科衛生士	常勤	人	常勤以外	人	(週日勤務)
	備考欄:				
その他 (職種名:)	常勤	人	常勤以外	人	(週日勤務)
	備考欄:				
その他 (職種名:)	常勤	人	常勤以外	人	(週日勤務)
	備考欄:				

(2)診療実績について

区分	障害者等歯科診療						再掲	
	知的障害 (A)	身体障害 (B)	精神障害 (C)	要介護 高齢者 (65歳以上) (D)	その他 (E)	合計 ((A)~(E) の合計)	摂食・ 嚥下訓練 (F)	訪問 (G)
25年度実績	延 人	延 人	延 人	延 人	延 人	延 人	延 人	延 人
区分	麻酔・鎮静方法							
	全身麻酔 (H)	静脈内鎮静法 (I)	吸入鎮静法 (J)					
25年度実績	延 人	延 人	延 人					

(3)施設・設備について

歯科診療 ユニット台数	車椅子対応の 可否
台	可・否

所属	
担当者名	
電話番号	

東京都内地区口腔保健センター施設概要

平成27年度版

東京都立心身障害者口腔保健センター

平成25年度東京都における障害児（者）の歯科保健医療に関する実態調査結果（概要）

医療政策部医療政策課

調査目的

- 東京都では、東京都歯科保健目標「いい歯東京」（平成23年度～平成27年度）策定し、事業を展開している。一方、国は、平成23年度に「歯科口腔保健の推進に関する法律」を制定し、「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」の中で、基本的な方針、目標などを定めたが、施策のうち「障害者等が定期的に歯科検診を受けること等のための施策」のための指標については、現在の都の目標に盛り込まれていない。
- そのため、障害者の実態を調査し、目標策定のための基礎資料とすることを目的とし実施した。

調査方法

＜調査対象＞

	調査名	対象	調査方法
1	障害者福祉施設の歯科保健医療に関する実態調査	東京都にある障害者福祉施設（入所、通所）のうち 150施設（回答数：122施設、回収率：81.3%）	郵送による自記式調査票配布・歯科医師の施設訪問による回収
2	医療機関を併設する重症児施設の歯科保健医療に関する実態調査	東京都にある医療機関を併設する重症児施設 14施設（回答数：11施設、回収率：78.6%）	郵送による自記式調査票配布・郵送による回収
3	障害者福祉施設の歯科保健医療に関する実態調査に付随した聞き取り調査	1について回答が得られた施設 122施設	1の施設訪問時に聞き取り
4	障害者福祉施設利用者の歯科保健医療に関するアンケート調査	1及び2で回答が得られた施設の利用者 1,091人	郵送による自記式調査票配布・1の施設：施設訪問時に回収、2の施設：郵送による回収

＜調査時期＞

- ① 調査票に回答する調査時点は、平成25年10月1日現在 ② 調査票郵送は、平成25年9月、回収及び聞き取りは同年10月から12月

施設調査結果

＜歯科健診の状況＞

健診の機会のある施設は73.0%であり、健診の頻度は、「年1回」57.3%、「年2回」13.5%

＜摂食機能支援の状況＞（実施している内容については、重複回答）

摂食機能向上の訓練を実施している施設は56.6%、必要を感じているが実施していない施設は32.8%であり、実施している内容は、「食環境（姿勢や食具）の指導」89.9%、「食内容（食形態・物性）の指導」81.2%

＜歯科受診の状況＞（重複回答）

受診先は、「歯科医院・センターなど」56.6%、「施設への訪問」36.9%、「大学病院など」27.9%

＜口腔機能向上の取組み＞（重複回答）

今後取り入れたい活動は、「歯磨き指導や介助」58.2%、「口腔機能向上の取組み」44.3%、「口腔ケア」35.2%

＜口腔保健センター＞

①都立心身障害者口腔保健センターを利用したことがある施設は45.1%。利用したことがない施設の理由は「地域で受診可能である」46.7%

②地区の口腔保健センターを利用したことがある施設は58.5%。利用したことがない施設の理由は「地域での受診が可能である」46.4%

＜東京都や行政に望むこと＞

- ①行政に望むことは、「近くで安心して受けられる環境」、「健診、口腔ケア、嚥下機能支援の必要性の啓発」、「障害者に対応する施設などの情報」など
②センターに望むことは、「診療の充実」、「定期的な健診、訪問」、「施設へのセンターの情報提供」、「地区のセンターの周知」など

医療機関を併設する施設調査結果

＜歯科健診の状況＞

健診の機会のある施設は90.9%であり、健診の頻度は、「年3回以上」45.5%、「年2回」36.4%

＜摂食機能支援の状況＞（重複回答）

すべての施設が摂食機能向上の訓練を実施しており、実施している内容は、「食環境の指導」、「食内容の指導」など

＜歯科受診の状況＞

施設内の歯科施設を受診先にしていない施設がすべて

＜口腔機能向上の取組み＞（重複回答）

今後取り入れたい活動は、「口腔機能向上の取組み」63.6%、「歯磨き指導や介助」54.5%、「口腔ケア」45.5%

聞き取り調査結果

＜受診先の状況＞（重複回答）

	都立センター	地区センター	歯科診療所
全体	36.1%	38.5%	77.9%
区部	44.4%	38.9%	80.0%
多摩部	12.5%	37.5%	71.9%

＜診療の満足度＞

	満足	不満足	その他・不明
全体	70.5%	6.6%	22.9%
区部	70.0%	6.7%	23.3%
多摩部	71.9%	6.3%	21.9%

利用者調査結果

＜歯や口の状況＞（②は重複回答）

- ①現在困っていることがある人は、46.0%
②困っている内容は、「むし歯や歯周病」47.6%、「うまく噛めない、飲み込めない」22.1%など

＜歯科健診の状況＞（②、③は重複回答）

- ①健診を受けている人は、86.3%
②健診の頻度は、「3か月に一回」29.8%、「半年に一回」22.9%、「1年に一回」18.2%
③健診を受けていない理由は、「通院が難しい」31.7%、「必要と思われない」26.6%

＜歯科受診の状況＞

- ①これまでに歯科を受診したことがある人は、94.9%
②受診先は、「診療所」35.7%、「病院」20.3%、「都立口腔保健センター」12.0%、「訪問診療」11.8%、「地域のセンター」10.7%、「大学病院」9.1%
③受診先を選ぶ理由は、「自宅や施設の近く」20.8%、「家族等からの紹介」17.7%
④治療の満足度は、「満足」・「とても満足」81.3%、「どちらでもない」12.8%、「不満」・「とても不満」3.4%
⑤不満の理由は、「治療に対する不満」、「通院・治療が苦痛」、「歯科医師に対する不満」など

⑥歯科受診をしたことがない理由は、「受診する必要がなかった」73.9%、「受診先がわからない」4.3%

＜かかりつけ歯科医の状況＞

- ①かかりつけ歯科医を決めている人は、83.0%
②かかりつけ歯科医は、「診療所」36.1%、「病院」20.6%、「都立口腔保健センター」12.7%、「地域のセンター」11.9%、「訪問診療」10.9%
③かかりつけ歯科医として決めている理由は、「障害者に適切に対応したり、障害者に配慮した施設であるから」67.7%、「自宅（施設）の近くだから」21.9%

＜歯科受診に望むこと＞

今後の歯科受診に望むことは、「患者の全身状況や周囲の状況をよりよく理解する環境」57.4%、「どの歯科医療機関でも安心して診療が受けられる環境」48.1%、「専門性の高い歯科医療機関で安心して診療が受けられる環境」37.6%

＜困っていることへの要望＞（重複回答）

「近くで専門的に診てくれる診療所・診療所の情報が欲しい」、「障害への理解」、「予約が取りにくい、待ち時間が長い」、「本人が治療に慣れない、障害のため治療が難しい」など

「平成 25 年度東京都における障害児（者）の歯科保健医療に関する実態調査」

調査結果（概要）

I 調査の目的及び方法

1 調査目的

東京都では、都民の歯と口腔の健康を保つため、東京都歯科保健目標「いい歯東京」を策定し、都民のニーズや課題を反映させた指標や施策を盛り込み、事業を展開しているところである。

一方、国は、平成 23 年度に「歯科口腔保健の推進に関する法律」を制定し、基本的な方針、目標などを定め、歯科疾患の予防等による口腔の健康の保持の推進に関する施策を総合的に推進することとした。施策のうち「障害者等が定期的に歯科検診を受けること等のための施策」のための指標については、現在の都の目標に盛り込まれていない。そのため、障害者の実態を調査し、目標策定のための基礎資料とすることを目的とした。

2 調査対象

	調査名	対象	調査方法
1	障害者福祉施設の歯科保健医療に関する実態調査	東京都にある障害者福祉施設（入所、通所）のうち 150施設	郵送による自記式調査票配布 歯科医師の施設訪問による回収
2	医療機関を併設する重症児施設の歯科保健医療に関する実態調査	東京都にある医療機関を併設する重症児施設 14施設	郵送による自記式調査票配布 郵送による回収
3	障害者福祉施設の歯科保健医療に関する実態調査に付随した聞き取り調査	1について回答が得られた施設 122施設	1の施設訪問時に聞き取り
4	障害者福祉施設利用者の歯科保健医療に関するアンケート調査	1及び2で回答が得られた施設の利用者 1,091人	郵送による自記式調査票配布 1の施設：施設訪問時に回収 2の施設：郵送による回収

3 調査時期

調査票に回答する調査時点は、平成 25 年 10 月 1 日現在とした。また、調査票郵送は、平成 25 年 9 月、回収及び聞き取りは同年 10 月から 12 月に行った。

4 調査実施

調査は、公益社団法人東京都歯科医師会がムカイ口腔機能研究所の協力を得て実施した。

II 調査結果の概要

1 障害者福祉施設の歯科保健医療に関する実態調査

(1) 調査数

調査回答数は、122 施設であり、回収率は 81.3%であった。

(2) 回答者の職種

回答者の職種は、看護師・保健師が 37.7%、施設（副）長 22.1%、支援員 16.4%であった。

(3) 施設の種類

回答施設のサービスの種類は、生活介護 74.6%、施設入所支援 25.4%、自立支援（機能訓練、生活訓練）11.5%であった。

(4) 施設の開設者

回答施設の開設者は、社会福祉協議会以外の社会福祉法人が開設した施設が 45.9%、区市町村の開設が 34.4%であった。

(5) 施設職員の構成

施設職員の職種の構成は、常勤、非常勤及びその他を合わせ、「介護福祉士」333人、「看護師」235人、「言語聴覚士」173人であった。また、歯磨きにかかわる職員の職種は、「介護福祉士」252人、「看護師」97人、「歯科衛生士」22人であった。

(6) 施設利用者の定員

施設利用者の定員は平均 44.6人、最大 128人、最少 5人であった。

(7) 利用者の構成

利用者の障害別の状況は、年齢区分別に、下表のとおりであった。

(人)

年齢区分	主として身体障害	主として知的障害	主として精神障害	主として発達障害
18歳未満	22	4	0	0
18～64歳	1,597	3,079	89	54
65歳以上	168	137	3	0
合計	1,787	3,220	92	54

(8) 施設内の歯科診療所設置状況

施設内に歯科の診療施設を設置しているか聞いたところ、「設置している」2.5%、「設置していない」95.9%であった。

(9) 歯科健診の状況

ア 歯科健診の機会

歯科健診の機会があるか聞いたところ、「機会がある」73.0%、「機会がない」27.0%であった。

イ 歯科健診の頻度

歯科健診の機会がある 89施設にその頻度を聞いたところ、「年1回」57.3%、「年2回」13.5%であった。

ウ 歯科健診の対象者

歯科健診の機会がある 89施設にその対象者を聞いたところ、「施設利用者全員」60.7%、「希望者のみ」22.5%、「必要と思われる利用者のみ」14.6%であった。

エ 健診の課題

歯科健診の機会がある 89施設に対し、健診に課題があるか聞いたところ、「課題がある」42.7%、「課題がない」47.2%であった。

また、具体的な課題の内容は、「健診のシステムに関する課題」13件、「健診内容についての課題」11件、「設備・受け入れ等についての課題」6件、「健診後の治療との結びつけについての課題」9件、「その他の課題」3件であった。

(10) 歯や口腔の健康状態（年間の人数）

ア 症状の訴え、気付きの状況

歯や口腔の状態について症状を訴えたり職員が気がついたりする利用者の人数について聞いたところ、「歯ぐきの腫れ・出血（延べ人数）」7,799人、「硬いものを嫌ったり、噛みにくい（実数）」559人であった。

（人）

年齢区分	歯が痛い(延べ)	歯ぐきの腫れ・出血 (延べ)	硬いものを嫌ったり、 かみにくい(実数)	飲み込みにくい (実数)	その他
18歳未満	9	9	7	3	0
18～64歳	1,606	7,058	509	399	209
65歳以上	740	732	43	62	41
合計	2,355	7,799	559	464	250

イ 訴えに対し受診勧奨の状況

症状を訴えた利用者に対し受診を勧めるかについて聞いたところ、歯ぐきの腫れ・出血を訴えた利用者に対し「受診を勧める」697人、硬いものを嫌ったり、噛みにくいと訴えた利用者に対し「受診を勧める」301人であった。

（人）

	歯が痛い(延べ)	歯ぐきの腫れ・出血 (延べ)	硬いものを嫌ったり、 かみにくい(実数)	飲み込みにくい (実数)	その他
積極的に勧める	98	216	90	197	111
行った方がよいと勧める	230	409	71	53	23
場合によっては勧める	18	72	140	50	72
勧めてはいない	26	60	110	83	13
その他	4	10	14	29	0

(11) 食事、食べる機能（摂食機能）支援の状況

ア 食事

(7) 食事の提供方法（重複回答）

施設での食事はどのような方法を取っているか聞いたところ、「施設が調理した食事を提供」89.3%、「仕出し弁当などを利用」13.1%、「利用者が弁当持参」12.3%であった。

(4) 提供する食事の形態（重複回答）

利用者に提供する（できる）食事の形態について聞いたところ、「一般食（常食）」91.8%、「軟食（刻み食含む）」81.1%、「流動食（ミキサー食、ペースト食を含む）」67.2%であった。また、聞き取り調査時に経管栄養への対応について聞いたところ、16.4%が対応していた。

(7) 利用者への食事介助に関する問題

利用者への食事介助に関して問題を感じるものがどの程度あるか聞いたところ、「ややある」44.3%、「大変ある」21.3%、「あまりない」21.3%であった。

また、具体的内容は、「食形態の対応が問題」17件、「介助方法など介助側（施設側）の問題」20件、「食べ方など施設利用者側の問題」25件、「保護者や家族との認識の差の問題」9件、「その他の問題」11件であった。

イ 摂食機能支援

(7) 摂食機能のための指導・訓練の状況

食べたり飲み込んだりすることに問題がある利用者に対して、食べる機能(摂食機能)

の維持向上を図るための指導・訓練を実施しているか聞いたところ、「実施している」56.6%、「必要は感じているが実施していない」32.8%、「必要を感じない」13.9%であった。

(4) 摂食機能のための指導・訓練の状況（重複回答）

食べる機能の維持向上を図るための指導・訓練を実施している69施設に対し、実施している指導・訓練の内容について聞いたところ、「食環境（姿勢や食具など）の指導」89.9%、「食内容（食形態・物性など）の指導」81.2%、「関節機能訓練（嚥下体操や器具を使ったトレーニングなど）」62.3%、「直接的機能訓練（実際の食品を使った訓練）」24.6%であった。

(5) 指導・訓練を主に実施している職員の職種

食べたり飲み込んだりすることに問題がある利用者に食べる機能の維持向上を図るための指導・訓練を実施している69施設に対し、主に実施している職員の職種を聞いたところ、「看護師」43.5%、「歯科医師」24.6%、「作業療法士」23.2%、「理学療法士」20.3%、「歯科衛生士」14.5%であった。

(6) 実施していない理由（重複回答）

食べたり飲み込んだりすることに問題がある利用者に食べる機能の維持向上を図るための指導・訓練の必要性は感じているが実施していない40施設に対し、その理由を聞いたところ、「実施できる人材（専門職）がいない」82.5%、「評価や実施方法などの知識・技術が不足している」80.0%、「時間が確保できない」30.0%であった。

(12) 歯科受診の状況

ア 受診先

(7) 利用している受診先（重複回答）

施設として通常利用している受診先を聞いたところ、「定期的に受診している歯科医院・センターなど」56.6%、「施設への歯科医師の訪問」36.9%、「その他の大学病院や歯科診療所」27.9%であった。

(4) 受診先を選ぶ理由

施設が通常利用している受診先を選ぶ理由について聞いたところ、「歯科医療機関（医療システム）側の理由」35件、「施設側の理由」27件、「施設利用者・保護者や家族側の理由」26件、「その他」20件であった。

イ 受診の方法（重複回答）

受診方法を聞いたところ、「自分で（家族の介助含む）」64.8%、「職員の介助で」39.3%、「訪問診療」23.8%であった。

ウ 歯科受診の課題

歯科受診について課題があるか聞いたところ、「課題がある」56.6%、「課題はない」40.2%であった。

また、その内容について聞いたところ、「歯科医療機関（医療システム）側の課題」36件、「施設側の課題」6件、「施設利用者側の課題」17件、「保護者や家族との認識の差の課題」6件、「その他」11件であった。

(13) 歯や口腔の健康管理の状況

ア 歯磨き

(7) 歯磨きの機会

利用者に歯磨きの機会を取り入れているかについて聞いたところ、「取り入れている」97.5%であった。

(4) 歯磨きの頻度（重複回答）

利用者に歯磨きの機会を取り入れている119施設に対し、歯磨きの頻度について聞いたところ、「昼食後」93.4%、「夕食後」25.4%、「朝食後」27.9%であった。

(5) 歯磨きの対象者

利用者に歯磨きの機会を取り入れている119施設に対し、歯磨きの対象者について

聞いたところ、「全員」71.4%、「希望者のみ」18.5%であった。

また、「必要と思われる希望者のみ」12施設の具体的な理由は、「本人に任せている」、「自分で歯磨きができない」などであった。

(I) 歯磨きの方法

利用者に歯磨きの機会を取り入れている119施設に対し、歯磨きの方法について聞いたところ、「介助が必要な利用者には職員が介助している」89.9%、「歯磨き介助はしていない」8.4%であった。

(II) 歯磨きのチェック

利用者に歯磨きの機会を取り入れている119施設に対し、職員が歯磨きの状態をチェックしているか聞いたところ、「チェックしている」86.1%、「チェックしていない」13.9%であった。

イ 口腔機能向上の取組み

(7) 今後取り入れたい活動（重複回答）

利用者の歯や口の健康状態の向上のため、今後の取り入れたい活動について聞いたところ、「歯磨き指導や介助」58.2%、「嚙むことや飲み込むことなど口腔機能向上の取組み」44.3%、「口腔ケア」35.2%、「受診先や相談先の確保、連携強化」28.7%であった。

(I) 専門職に望むこと

利用者の歯や口の健康状態向上のため歯科医師や歯科衛生士などの専門職に望むことを聞いたところ、「職員研修などの施設職員に関すること」7件、「歯科健診・歯科治療などに関すること」27件、「摂食・嚥下機能、食事指導などに関すること」7件、「口腔ケア（歯磨きを含む）などの予防に関すること」14件、「家庭、利用者向けに関すること」5件、「その他」16件であった。

(14) その他

ア 「いい歯東京」の認知度

東京都歯科保健目標「いい歯東京」を知っているか聞いたところ、「知らない」76.2%、「知っている」21.3%であった。

イ 東京都立心身障害者口腔保健センターの認知度

(7) 都立口腔保健センターの認知度

都立心身障害者口腔保健センターを知っているか聞いたところ、「知っている」67.2%、「知らない」31.1%であった。

(I) 都立口腔保健センター利用の有無

知っているとは回答した施設82施設に対し利用したことがあるか聞いたところ、「利用したことがある」45.1%、「利用したことがない」54.9%であった。

(II) 都立口腔保健センターを利用する理由

都立心身障害者口腔保健センターを利用したことがある37施設に対し、どのような場合に利用するかを聞いたところ、「利用者やその家族の希望があったとき」67.6%、「地域や施設内の歯科からの紹介」37.8%であった。

(I) 都立口腔保健センターを利用したことがない理由

都立心身障害者口腔保健センターを利用したことがない45施設に対しその理由を聞いたところ、「地域（又は施設内）で受診が可能であるため」46.7%、「通院するには遠距離であるため」17.8%であった。

ウ 地域の口腔保健センターの認知度

(7) 地域の口腔保健センターの認知度

地区の口腔保健センターを知っているか聞いたところ、「知っている」53.3%、「知らない」46.7%であった。

(I) 地域の口腔保健センター利用の有無

地区口腔保健センターを知っている65施設に対し、利用したことがあるか聞いたところ、「利用したことがある」58.5%、「利用したことがない」41.5%であった。

(ウ) 地域の口腔保健センターを利用する理由

地区の口腔保健センターを利用したことがある38施設に対し、どのような場合に利用するか聞いたところ、「利用者（又はその家族）の希望があったとき」42.1%、「歯科受診が必要になったときに最初に受診する」36.8%であった。

(イ) 地域の口腔保健センターを利用したことがない理由

地域の口腔保健センターを知ってはいるが利用したことがない27施設に対し、その理由を聞いたところ、「地域（又は施設内）で受診が可能であるため」46.4%であった。

エ 東京都や行政に望むこと

障害者の歯と口の健康を維持・向上するために、東京都や行政に望むことを聞いたところ、「歯科医療システム・環境整備などについて」34件、「歯科保健・医療の内容について」21件、「研修会、講習会などについて」10件、「その他」9件であった。

オ 東京都立心身障害者口腔保健センターや地区の口腔保健センターに望むこと

東京都立心身障害者口腔保健センターや地区の口腔保健センターに望むことを聞いたところ、「歯科医療システムなどについて」14件、「歯科保健・医療の内容について」10件、「普及啓発（研修会、情報発信など）について」18件、「その他」8件であった。

2 医療機関を併設する重症児施設の歯科保健医療に関する実態調査

(1) 調査数

調査回答数は、11施設であり、回収率は78.6%であった。

(2) 回答者の職種

回答者の職種は、「歯科医師」54.5%、「看護師」18.2%であった。

(3) 施設の種類の

施設種別について聞いたところ、「医療型障害児入所施設」90.9%であった。

(4) 施設の開設者

施設の開設者について聞いたところ、「東京都」54.5%、「社会福祉法人（社会福祉協議会）」27.3%であった。

(5) 施設職員の構成

施設職員の職種の構成は、常勤、非常勤及びその他を合わせ、「看護師」748人、「医師」315人、「その他の専門職」256人であった。また、歯磨きにかかわる職員の職種は、「看護師」507人、「その他の専門職」117人、「介護福祉士」61人であった。

(6) 施設利用者の定員

施設利用者の定員の平均は97.7人、最大250人、最少20人であった。

(7) 利用者の構成

利用者の障害別の状況は、「主として知的障害」599人、「主として身体障害」162人であった。

(人)

年齢区分	主として身体障害	主として知的障害	主として精神障害	主として発達障害
18歳未満	64	41	2	55
18～64歳	491	110	1	22
65歳以上	44	11	3	3
合計	599	162	6	80

(8) 施設内の歯科診療所設置状況

施設内に歯科診療施設を設置しているか聞いたところ、全ての施設で「設置している」との回答であった。

(9) 歯科健診の状況

ア 歯科健診の機会

歯科健診の機会があるか聞いたところ、回答のなかった1施設を除いて全ての施設で「機会がある」との回答であった。

イ 歯科健診の頻度

健診の頻度を聞いたところ、「年3回以上」45.5%、「年2回」36.4%であった。

ウ 歯科健診の対象者

健診の対象者を聞いたところ、すべての施設で「施設利用者全員」との回答であった。

エ 健診の方法

健診の方法について聞いたところ、すべての施設で「施設内の歯科施設を利用」との回答であった。

オ 健診の課題

健診に課題があるか聞いたところ、「課題がない」45.5%、「課題がある」27.3%であった。

(10) 歯や口腔の健康状態（年間の人数）

ア 症状の訴え、気付きの状況

歯や口腔の状態について症状を訴えたり職員が気がついたりする利用者の人数について聞いたところ、「歯ぐきの腫れ・出血（延べ人数）」230人、「飲み込みにくい（実数）」78人であった。

(人)

年齢区分	歯が痛い(延べ)	歯ぐきの腫れ・出血(延べ)	硬いものを嫌ったり、かみにくい(実数)	飲み込みにくい(実数)	その他
18歳未満	45	47	20	26	6
18～64歳	81	147	24	43	23
65歳以上	30	36	6	9	4
合計	156	230	50	78	33

イ 訴えに対し受診勧奨の状況

症状を訴えた利用者に対し受診を勧めるかについて聞いたところ、歯ぐきの腫れ・出血を訴えた利用者に対し「受診を勧める」171人、飲み込みにくいと訴えた利用者に対し「受診を勧める」46人であった。

(人)

	歯が痛い(延べ)	歯ぐきの腫れ・出血(延べ)	硬いものを嫌ったり、かみにくい(実数)	飲み込みにくい(実数)	その他
積極的に勧める	154	171	24	46	7
行った方がよいと勧める	0	0	1	0	0
場合によっては勧める	0	0	0	0	5
勧めてはいない	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	5	0

(11) 食事、食べる機能（摂食機能）支援の状況

ア 食事

(7) 食事の提供方法

施設での食事はどのような方法を取っているか聞いたところ、すべての施設が「施設が調理した食事を提供」との回答であった。

(4) 提供する食事の形態

施設が調理し提供した食事の形態について聞いたところ、「一般食（常食）」、「軟食（刻み食含む）」、「流動食（ミキサー食、ペースト食を含む）」のすべてについて提供しているとの回答であった。

(5) 利用者への食事介助に関する問題

利用者への食事介助に関して問題を感じるものがどの程度あるか聞いたところ、「大変ある」63.6%、「ややある」18.2%であった。

また、具体的内容は、「利用者の摂食・嚥下機能の低下」、「介助側（施設側）の問題」などであった。

イ 摂食機能支援

(7) 摂食機能のための指導・訓練の状況

食べたり飲み込んだりすることに問題がある利用者に対して、食べる機能（摂食機能）の維持向上を図るための指導・訓練を実施しているか聞いたところ、すべての施設で「実施している」との回答であった。

(4) 摂食機能のための指導・訓練の状況（重複回答）

実施している指導・訓練の内容について聞いたところ、すべての施設で「食環境（姿勢や食具など）の指導」、「食内容（食形態・物性など）の指導」を実施しているとの回答であった。また、「関節機能訓練（嚥下体操や器具を使ったトレーニングなど）」、「直接的機能訓練（実際の食品を使った訓練）」のいずれも81.8%であった。

(5) 指導・訓練を主に実施している職員の職種

指導・訓練を主に実施している職員の職種を聞いたところ、「看護師」72.7%、「作業療法士」63.6%、「理学療法士」36.4%、「歯科衛生士」36.4%、「医師」18.2%、「歯科医師」18.2%であった。

(12) 歯科受診の状況

ア 受診先

(7) 利用している受診先

施設として通常利用している受診先を聞いたところ、すべての施設で「施設内の歯科施設」との回答であった。

(4) 受診先を選ぶ理由

施設が通常利用している受診先を選ぶ理由について聞いたところ、「歯科医師が常駐」、「いつでも対応し定期的な管理」などであった。

イ 受診の方法

受診方法を聞いたところ、「職員の介助で」90.9%、「自分で（家族の介助含む）」27.3%であった。

ウ 歯科受診の課題

歯科受診について課題があるか聞いたところ、「課題がある」36.4%、「課題はない」36.4%であった。

また、その内容について聞いたところ、「受診に付き添う人員」などであった。

(13) 歯や口腔の健康管理の状況

ア 歯磨き

(7) 歯磨きの機会

利用者に歯磨きの機会を取り入れているかについて聞いたところ、すべての施設で

「取り入れている」との回答であった。

(イ) 歯磨きの頻度

歯磨きの頻度について聞いたところ、無回答の1施設を除き、すべての施設で「朝食後」、「昼食後」、「夕食後」すべてにおいて実施しているとの回答であった。

(ウ) 歯磨きの対象者

歯磨きの対象者について聞いたところ、すべての施設で「全員」との回答であった。

(エ) 歯磨きの方法

歯磨きの方法について聞いたところ、すべての施設で「介助が必要な利用者には職員が介助している」との回答であった。

(オ) 歯磨きのチェック

職員が歯磨きの状態をチェックしているか聞いたところ、無回答の1施設を除いて、すべての施設で「チェックしている」との回答であった。

イ 口腔機能向上の取組み

(7) 今後取り入れたい活動(重複回答)

利用者の歯や口の健康状態の向上のため、今後の取り入れたい活動について聞いたところ、「噛むことや飲み込むことなど口腔機能向上の取組み」63.6%、「歯磨き指導や介助」54.5%、「口腔ケア」45.5%、「フッ化物洗口やフッ素塗布」36.4%、「定期的な歯科健診の機会」36.4%、「歯科衛生士などの専門職の採用」27.3%であった。

(イ) 専門職に望むこと

利用者の歯や口の健康状態向上のため歯科医師や歯科衛生士などの専門職に望むことを聞いたところ、「病棟での口腔ケア」などであった。

(14) その他

ア 「いい歯東京」の認知度

東京都歯科保健目標「いい歯東京」を知っているか聞いたところ、「知らない」72.7%、「知っている」9.1%であった。

イ 東京都立心身障害者口腔保健センターの認知度

(7) 都立口腔保健センターの認知度

都立心身障害者口腔保健センターを知っているか聞いたところ、「知っている」72.7%、「知らない」27.3%であった。

(イ) 都立口腔保健センター利用の有無

知っているとは回答した施設8施設に対し利用したことがあるか聞いたところ、「利用したことがある」18.2%、「利用したことがない」45.5%であった。

(ウ) 都立口腔保健センターを利用する理由

どのような場合に利用するかを聞いたところ、「利用者やその家族の希望があったとき」のみの回答であった。

(エ) 都立口腔保健センターを利用したことがない理由

利用したことがない5施設に対し、その理由を聞いたところ、「地域（又は施設内で受診が可能であるため）80.0%であった。

ウ 地域の口腔保健センターの認知度

(7) 地域の口腔保健センターの認知度

地区の口腔保健センターを知っているか聞いたところ、「知っている」54.5%、「知らない」27.3%であった。

(イ) 地域の口腔保健センター利用の有無

地区口腔保健センターを知っている6施設に対し、利用したことがあるか聞いたところ、「利用したことがある」33.3%、「利用したことがない」66.7%であった。

(ウ) 地域の口腔保健センターを利用する理由

地区の口腔保健センターを利用したことがある2施設に対し、どのような場合に利用するか聞いたところ、すべての施設で「利用者（又はその家族）の希望があったと

き」との回答であった。

(I) 地域の口腔保健センターを利用したことがない理由

地域の口腔保健センターを知ってはいるが利用したことがない4施設に対し、その理由を聞いたところ、すべての施設で「地域（又は施設内）で受診が可能であるため」との回答であった。

エ 東京都や行政に望むこと

障害者の歯と口の健康を維持・向上するために、東京都や行政に望むことを聞いたところ、「各医療機関の連携の強化」、「施設内の整備」などであった。

オ 東京都立心身障害者口腔保健センターや地区の口腔保健センターに望むこと

東京都立心身障害者口腔保健センターや地区の口腔保健センターに望むことを聞いたところ、「医療連携の確立」、「専門医療機関の役割分担の明確」などであった。

3 障害者福祉施設に対する歯科保健医療に関する聞き取り調査

(1) 調査数

調査回答数は、122施設であり、回収率は81.3%であった。

なお、この調査は、「障害者福祉施設の歯科保健医療に関する実態調査」に回答した施設を対象に、歯科医師が聞き取り調査を行った。

(2) 受診先の状況

ア 利用している受診先(重複回答)

(7) 対象施設全体

施設利用者が受診する際にどこに受診しているか聞いたところ、「地域の歯科診療所」77.9%、「地区口腔保健センター」38.5%、「東京都心身障害者口腔保健センター」36.1%であった。

(I) 区部

区部の施設では、「地域の歯科診療所」80.0%、「東京都心身障害者口腔保健センター」44.4%、「地区口腔保健センター」38.9%であった。

(ウ) 多摩部

多摩部の施設では、「地域の歯科診療所」71.9%、「地区口腔保健センター」37.5%、「東京都心身障害者口腔保健センター」12.5%であった。

イ 受診先を選ぶ理由

(7) 対象施設全体

受診先を選ぶ理由について聞いたところ、「障害者の歯科医療の専門機関であり、安心だから」27.9%、「施設から歯科医療機関が近く、通院に便利だから」24.6%、「家族などのかかりつけ歯科医療機関だから」24.6%であった。

(I) 区部

区部の施設では、「家族のかかりつけだから」28.6%、「障害者の専門だから」27.5%、「施設から近いから」25.3%であった。

(ウ) 多摩部

多摩部の施設では、「障害者の専門だから」28.1%、「施設を訪問して診療をしてくれるから」25.0%、「施設から近いから」21.9%であった。

ウ 診療内容の満足度

(7) 対象施設全体

受診先の診療内容に満足しているかを聞いたところ、「満足」70.5%、「不満足」6.6%であった。

(I) 区部

区部の施設では、「満足」70.0%、「不満足」6.7%であった。

(ウ) 多摩部

多摩部の施設では、「満足」71.9%、「不満足」6.3%であった。

エ 満足・不満足の原因

(7) 対象施設全体

診療内容の満足または不満足の原因を聞いたところ、満足の理由は、「診療がよい・安心」28.7%、「定期管理している」9.8%であった。また、不満足の原因は、「指導・設備不足」5.7%、「対応不親切」4.1%であった。

(イ) 区部

区部の施設では、満足の理由は、「診療がよい・安心」25.6%、「定期管理している」8.9%であった。また、不満足の原因は、「指導・設備不足」4.4%であった。

(ウ) 多摩部

多摩部の施設では、満足の理由は、「診療がよい・安心」37.5%、「定期管理している」12.5%であった。また、不満足の原因は、「指導・設備不足」9.4%であった。

4 障害者福祉施設利用者の歯科保健医療に関するアンケート調査

(1) 調査数

調査回答数は、1,091人であった。

なお、この調査は、「障害者福祉施設の歯科保健医療に関する実態調査」に回答した施設利用者を対象に調査を行った。

(2) 回答者の状況

回答者は、「本人」11.6%、「家族」58.4%であった。

(3) 施設利用者の状況

ア 性別

施設利用者の性別を聞いたところ、「男性」57.0%、「女性」41.8%であった。

イ 年齢

施設利用者の年齢を聞いたところ、「20歳代」25.2%、「30歳代」24.7%、「40歳代」22.3%であった。

ウ 主たる障害

施設利用者の主たる障害を聞いたところ、「主に知的障害」58.3%、「主に身体障害」46.3%であった。

(4) 歯や口の状況

ア 困っていることの有無

現在、歯や口に関して困っていることがあるか聞いたところ、「困っている」46.0%、「困っていない」50.9%であった。

イ 困っている内容(重複回答)

歯や口に関して困っていることがある502人に対し、その内容について聞いたところ、「むし歯や歯周病」47.6%、「うまく噛めない、飲み込めない」22.1%、「歯並び」21.9%、「噛み合わせの異常」14.1%であった。

ウ 困っている期間

現在、歯や口で困っていることがある502人に対し、いつ頃から困っているか聞いたところ、「6か月以上前」76.9%であった。

(5) 歯科健診の状況

ア 歯科健診の有無

歯科健診を受けているか聞いたところ、「受けている」86.3%、「受けていない」12.7%であった。

イ 歯科健診の頻度(重複回答)

歯科健診を受けている942人に健診の頻度を聞いたところ、「3か月に一回の頻度」

29.8%、「半年に一度」22.9%、「1年に1回」18.2%であった。

ウ 歯科健診を受けていない理由(重複回答)

歯科健診を受けていない139人に対して、を受けていない理由を聞いたところ、「通院が難しい」31.7%、「必要と思われない」26.6%であった。

(6) 歯科受診の状況

ア 歯科受診の有無

今までに歯科治療を受けたことがあるかを聞いたところ、「受けたことがある」94.9%であった。

イ 歯科受診の時期

今までに歯科治療を受けたことがある1,035人に一番最近の受診時期を聞いたところ、「半年前まで」60.7%、「1年以上前」16.1%であった。

ウ 受診先

歯科治療を受けたことがある1,035人に対して、どこで治療を受けたか聞いたところ、「診療所」35.7%、「病院」20.3%、「都立心身障害者口腔保健センター」12.0%、「訪問診療」11.8%、「地域の口腔保健センター」10.7%、「大学病院」9.1%であった。

エ 受診先を選んだ理由

歯科治療を受けたことがある1,035人に対して、受診先を選んだ理由を聞いたところ、「自宅や施設の近く」20.8%、「家族・知人からの紹介」17.7%、「他の歯科医療機関からの紹介」8.2%であった。

オ 受診内容

歯科治療を受けたことがある1,035人に対して、受診内容を聞いたところ、「歯石除去・歯面清掃」66.7%、「むし歯や歯周病の治療」53.0%、「口腔衛生指導」30.9%であった。

カ 治療の満足度

歯科治療を受けたことがある1,035人に対して、治療を受けてどのように感じたか聞いたところ、「満足」52.4%、「とても満足」28.9%、「どちらでもない」12.8%、「不満」2.4%、「とても不満」1.0%であった。

キ 不満の理由

治療を受けて不満である、とても不満であると回答した35人に対し、その理由を聞いたところ、「治療に対する不満」、「通院・治療が苦痛」、「歯科医師に対する不満」などであった。

ク 受診しなかった理由

今までに歯科治療を受けたことがない46人に対し、受診しなかった理由を聞いたところ、「受診する必要がなかったため」73.9%、「どこに受診すればよいかわからなかったため」4.3%、「歯科医療機関に受診を断られたため」2.2%であった。

(6) かかりつけ歯科医の状況

ア かかりつけ歯科医の有無

かかりつけ歯科医を決めているか聞いたところ、「決めている」83.0%、「決めていない」15.1%であった。

イ かかりつけ歯科医の種類

かかりつけ歯科医を決めている905人に対し、その歯科医療機関はどのようなところかを聞いたところ、「診療所」36.1%、「病院」20.6%、「都立心身障害者口腔保健センター」12.7%、「地域の口腔保健センター」11.9%、「訪問診療」10.9%、「大学病院」7.5%であった。

ウ かかりつけ歯科医の理由

かかりつけ歯科医を決めている905人に対し、かかりつけとしている理由を聞いたところ、「障害者に適切に対応したり、障害者に配慮した施設であるから」67.7%、「自宅(施設)の近くだから」21.9%であった。

(7) 今後の歯科受診に対する要望(重複回答)

今後歯科受診をするにあたりどのようなことを望むか聞いたところ、「患者の全身状況や周囲の状況をよりよく理解する環境」57.4%、「どの歯科医療機関でも安心して診療が受けられる環境」48.1%、「専門性の高い歯科医療機関で安心して診療が受けられる環境」37.6%であった。

(8) 困っていることや要望

歯科科受診を受ける上で困っていることや要望を聞いたところ、「障害者歯科医療システムの要望」、「歯科治療の内容・歯科医師への要望」、「利用者自身・家族のこと」などであった。

平成27年度
多摩地域の障害者施設における
歯科保健に関するアンケート調査

東京都保健所

目的

- 多摩地域の障害者福祉施設等の歯科保健の取組状況を把握し、障害者の口腔状況の向上に役立てることを目的にアンケート調査を実施した。

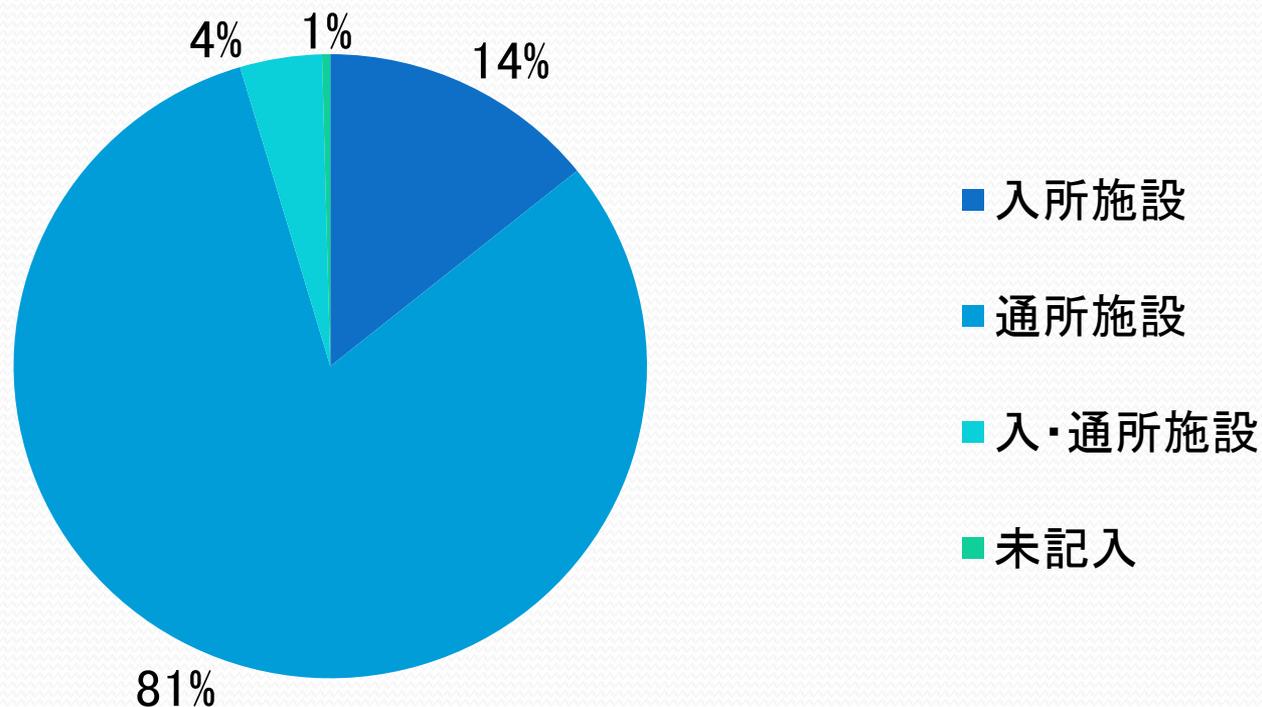
方法

- 対象：多摩地域の4保健所管内の障害者施設
(多摩府中保健所管内を除く)
- 時期：平成27年10月～12月
- 方法：主に郵送でアンケートを送付し、回収

アンケートの回収状況

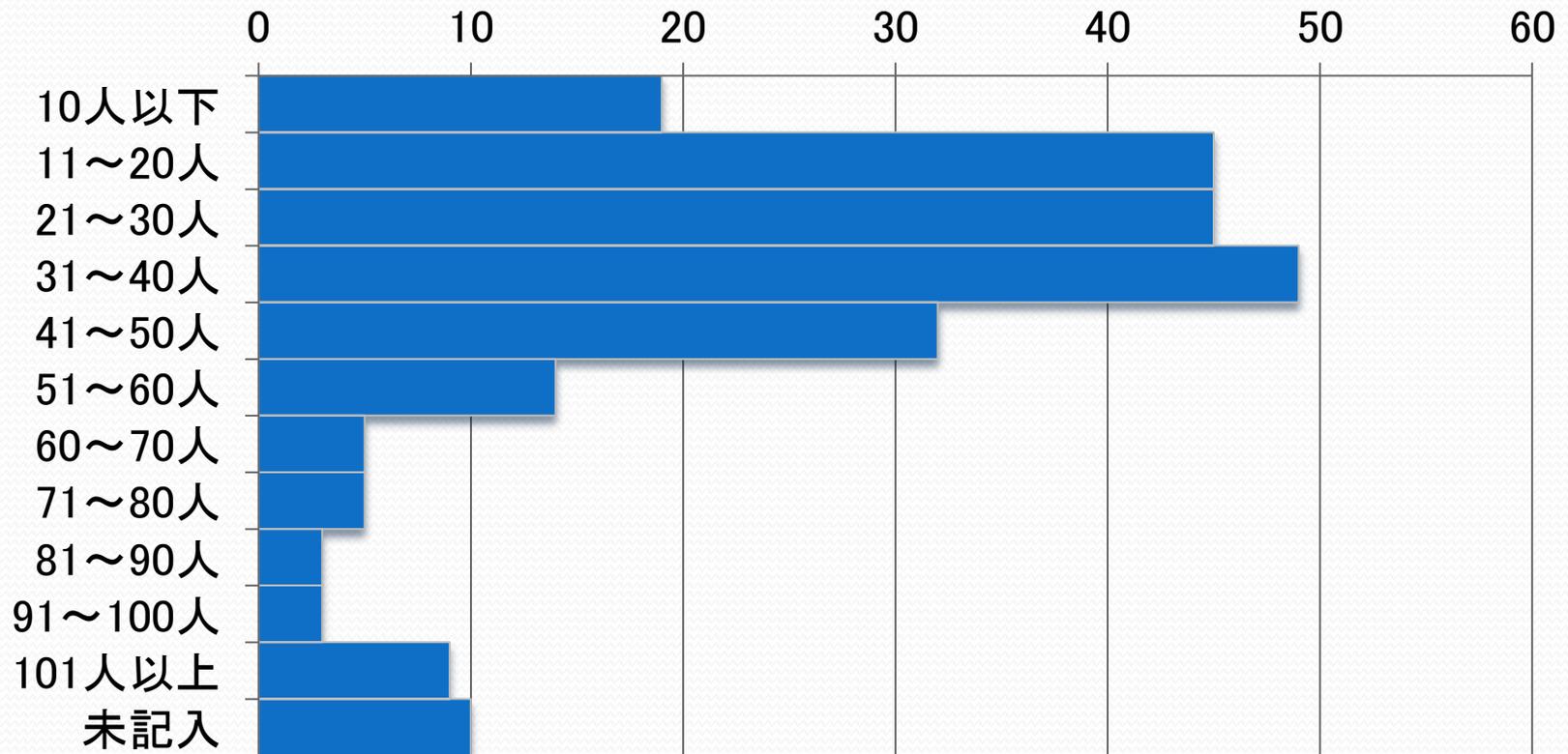
配布数	回収数	回収率
324	239	73.8%

結果：障害者施設の概要



- アンケートに回答した施設のうち、入所施設が14.2%、通所施設が81.2%であり、通所施設が8割以上を占めていた。

結果：施設利用者の概要



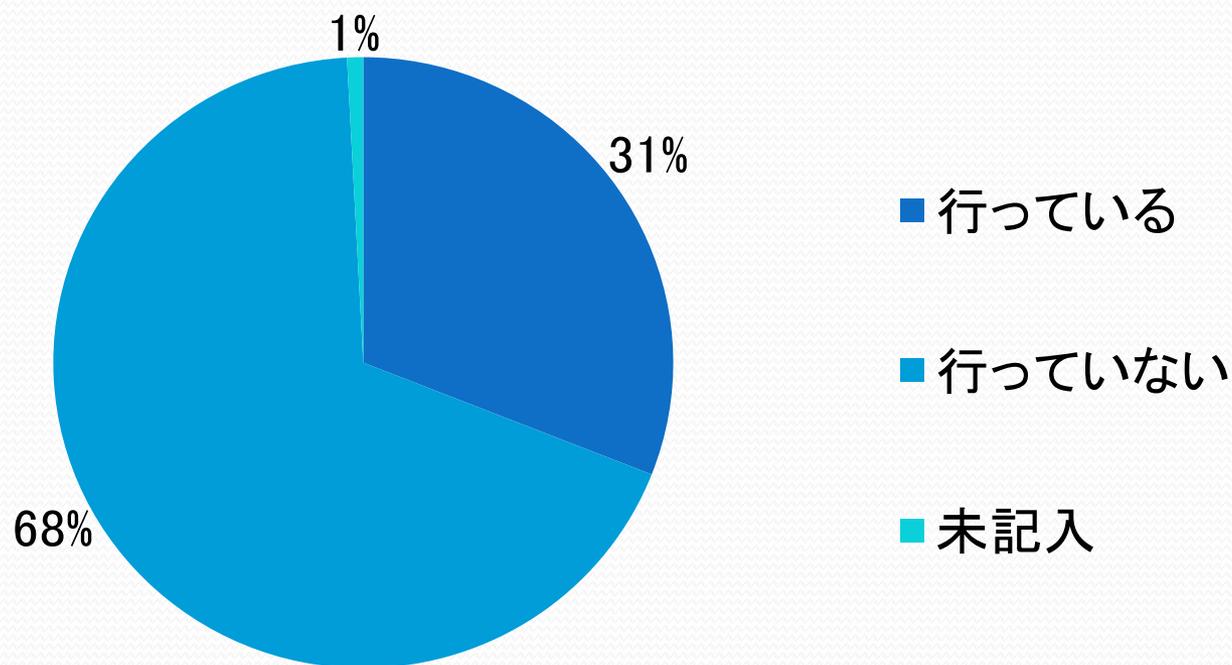
- 施設利用者数は、31~40人の施設が49施設と最も多く、60人以上の施設は少なかった。

結果：施設利用者の概要

	最小値	最大値	平均値(参考)	合計
1施設の利用者数	3人	233人	37.7人	8,632人
利用者の最少年齢	1.6歳	54.0歳	20.8歳	
利用者の最高年齢	5.0歳	96.0歳	61.9歳	
利用者の平均年齢	6.0歳	72.2歳	40.1歳	

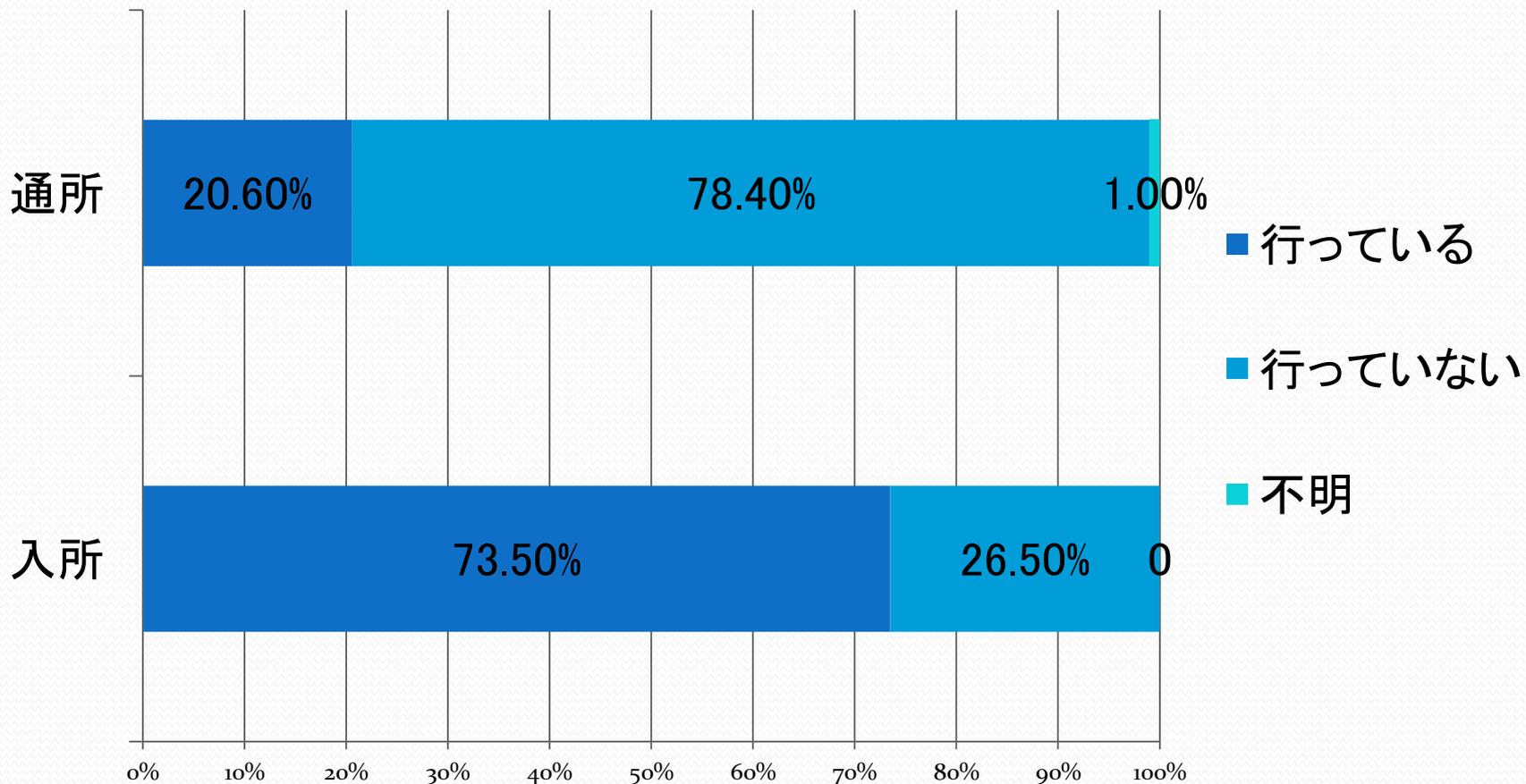
- 施設利用者数の最小値は3人、最大値は233人であった。また、平均値は37.7人で、中央値は32人であった。
- 施設によって利用者の年齢に幅や違いが見られた。

結果：施設利用者に対する歯科健診

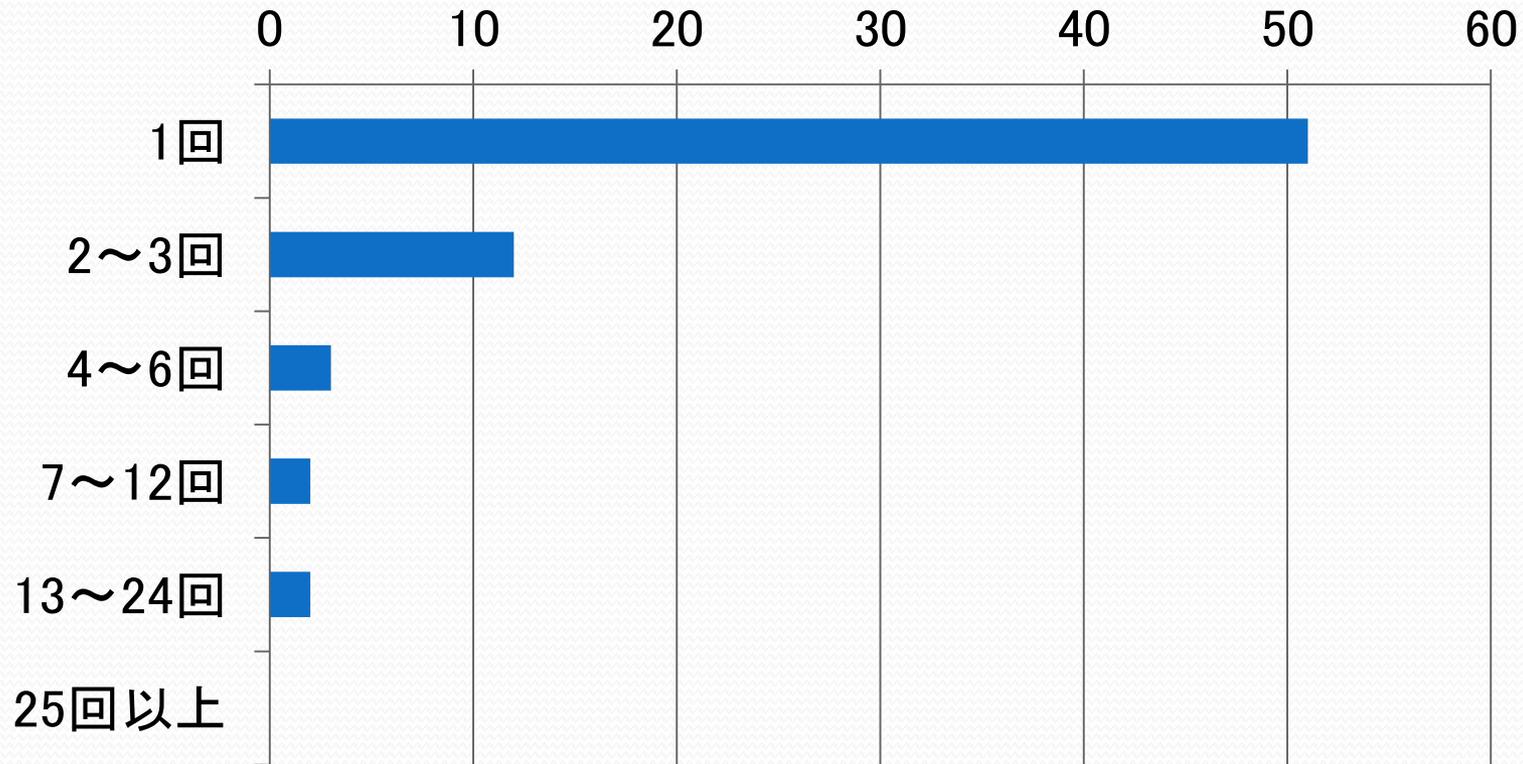


- 31.0%の施設が利用者に対する歯科健診を実施しており、68.2%の施設は歯科健診を実施していなかった。

結果：施設利用者に対する歯科健診 (入所施設と通所施設の比較)

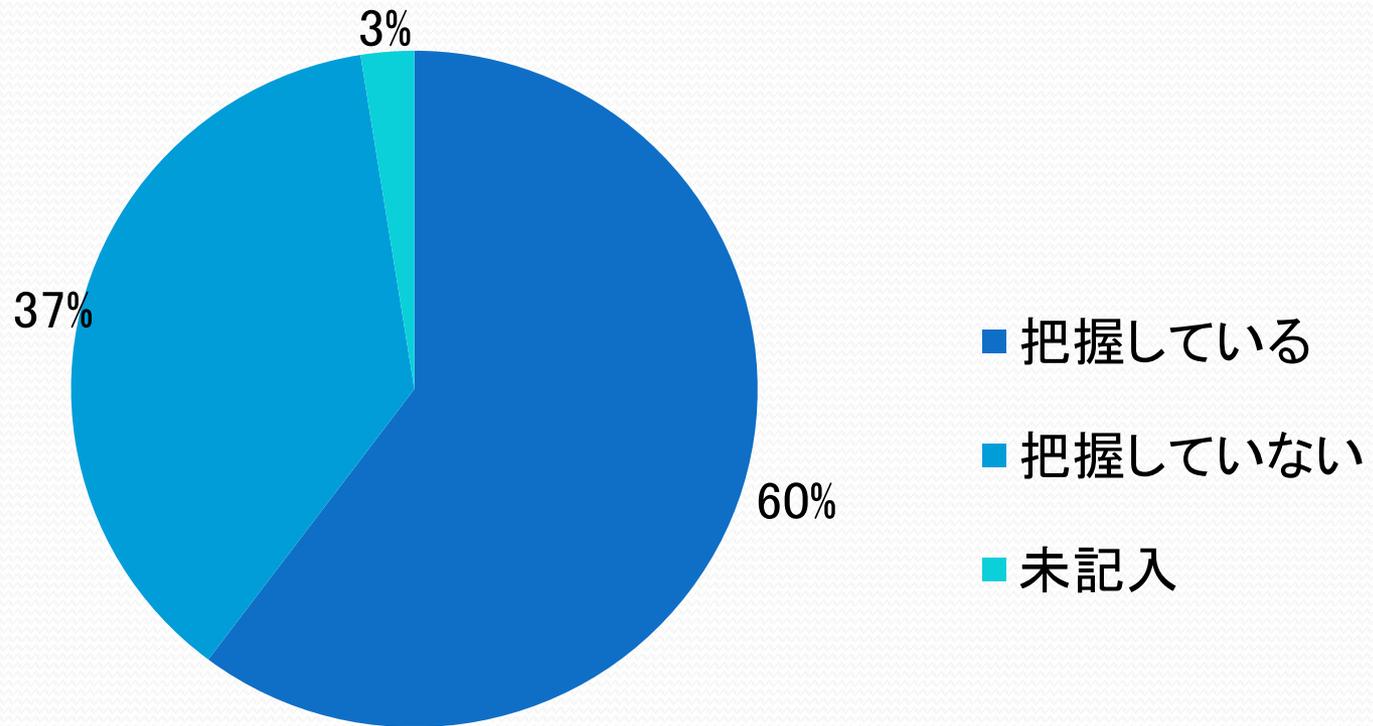


結果：健診実施施設における年間実施回数



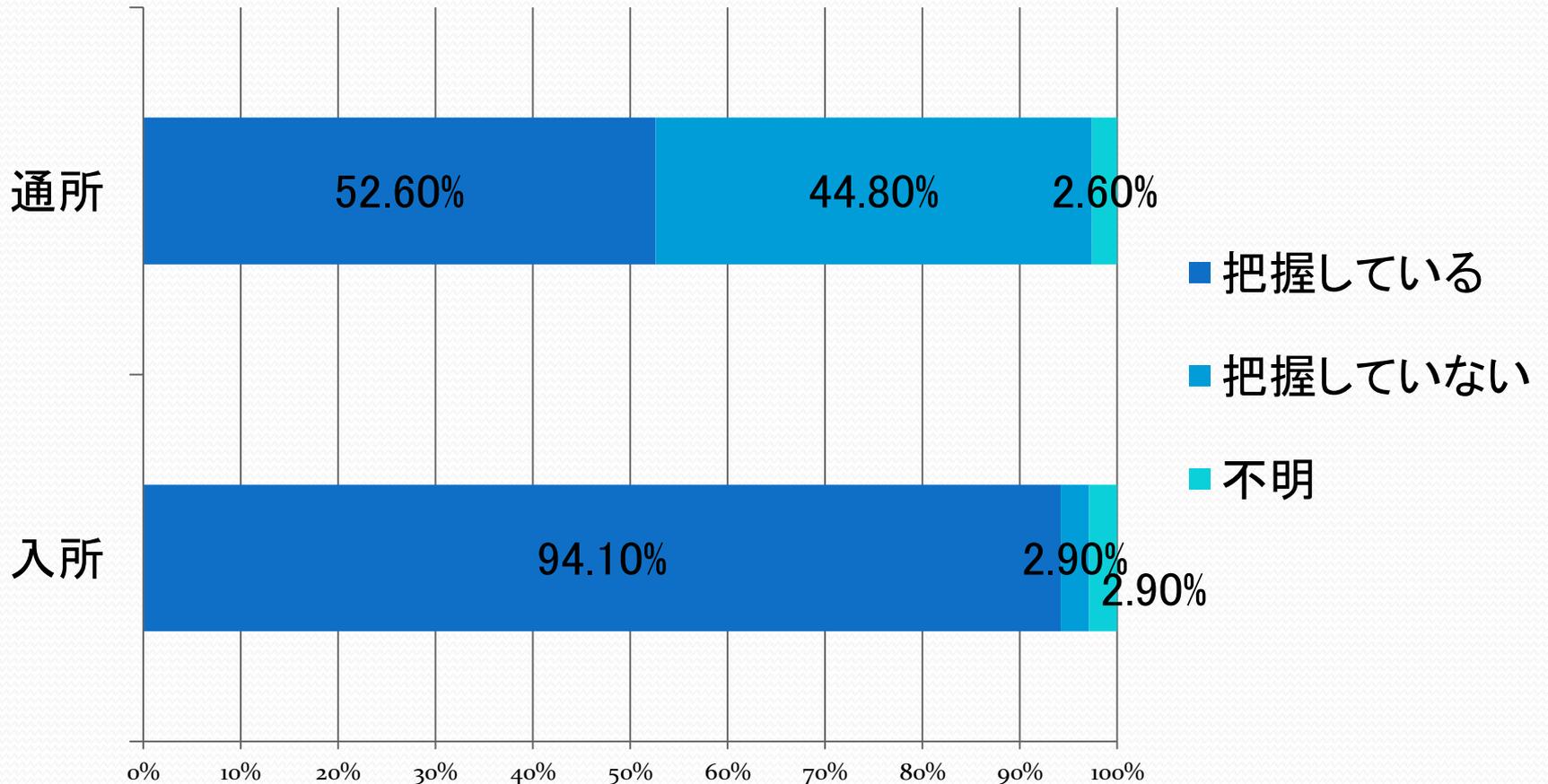
- 歯科健診を実施している74施設における実施回数は、年に1回が51施設と最も多かった。また、月に1～2回実施している施設が4施設あった。

結果：利用者のかかりつけ歯科医の把握

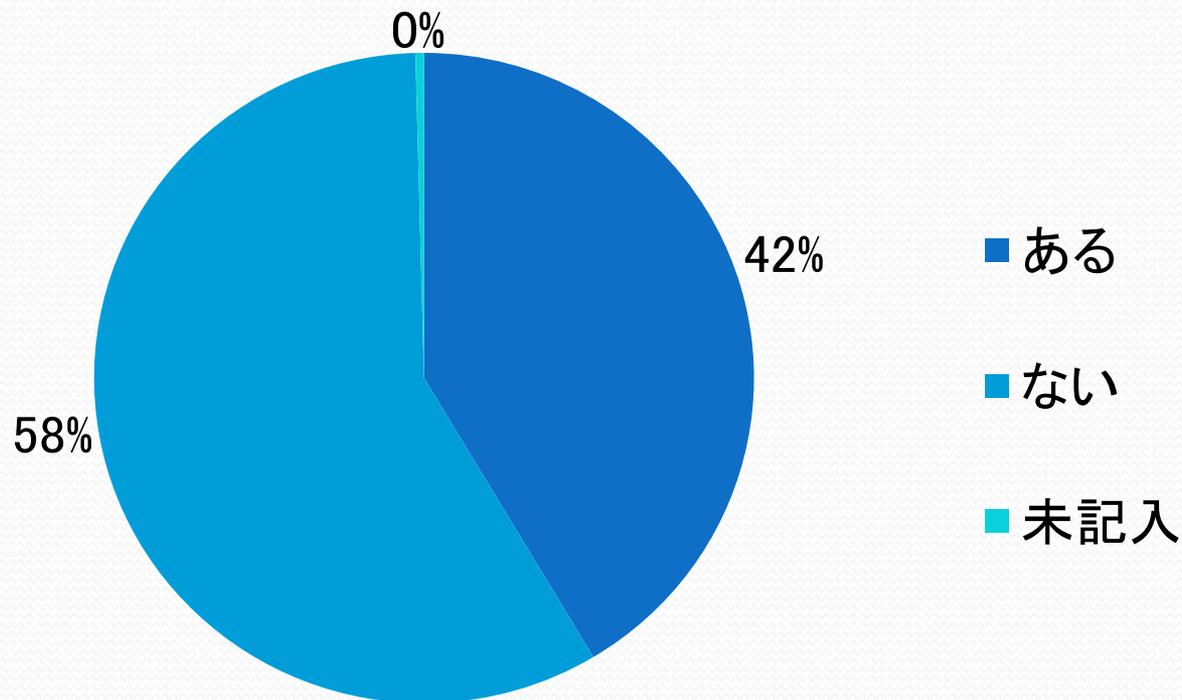


- 60.3%の施設は利用者がかかりつけ歯科医を持っているかどうかを把握していたが、37.2%の施設は把握していなかった。

結果：利用者のかかりつけ歯科医の把握 (入所施設と通所施設の比較)

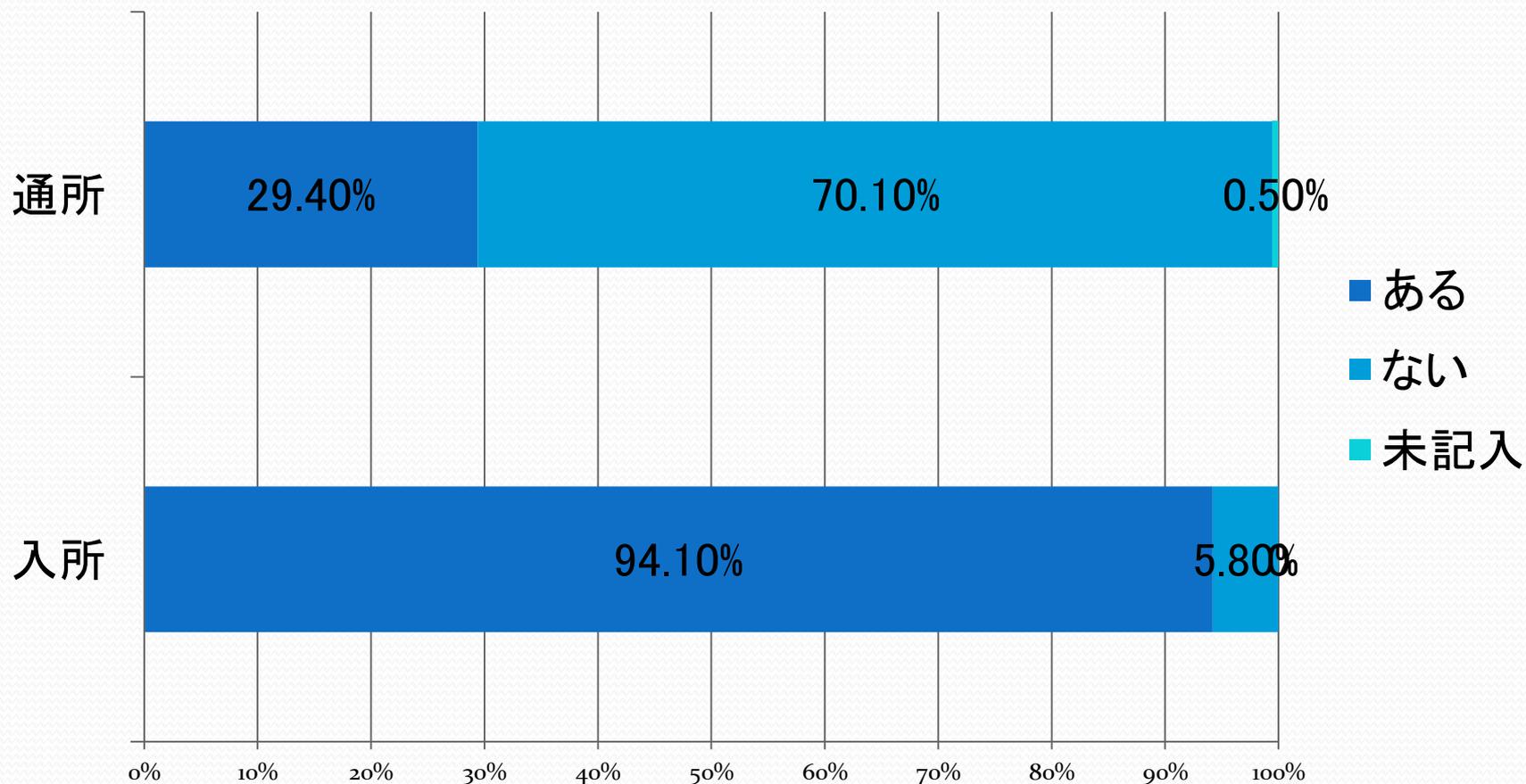


結果：施設として相談できる歯科医院等

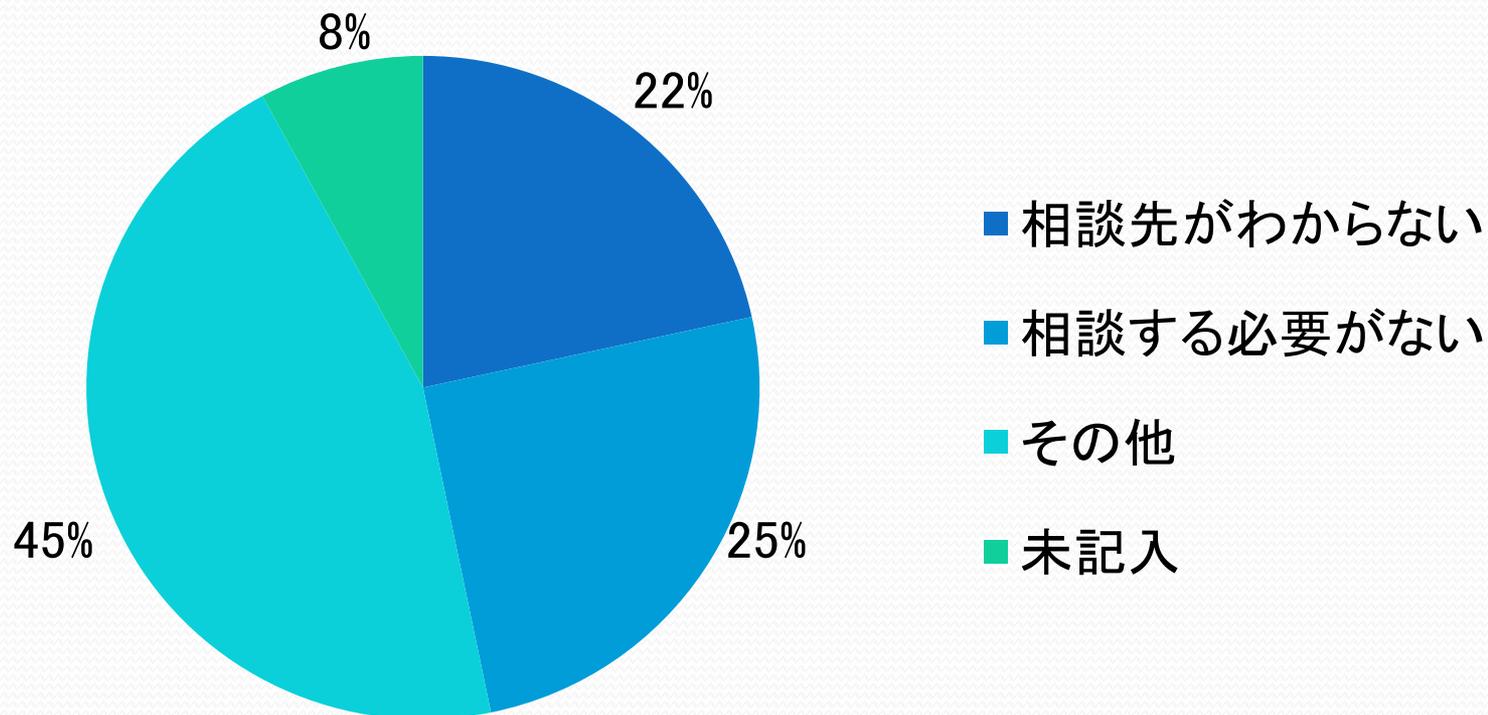


- 41.4%の施設で相談できる歯科医院があったが、58.2%の施設には相談できる歯科医院がなかった。

結果：施設として相談できる歯科医院等 (入所施設と通所施設の比較)

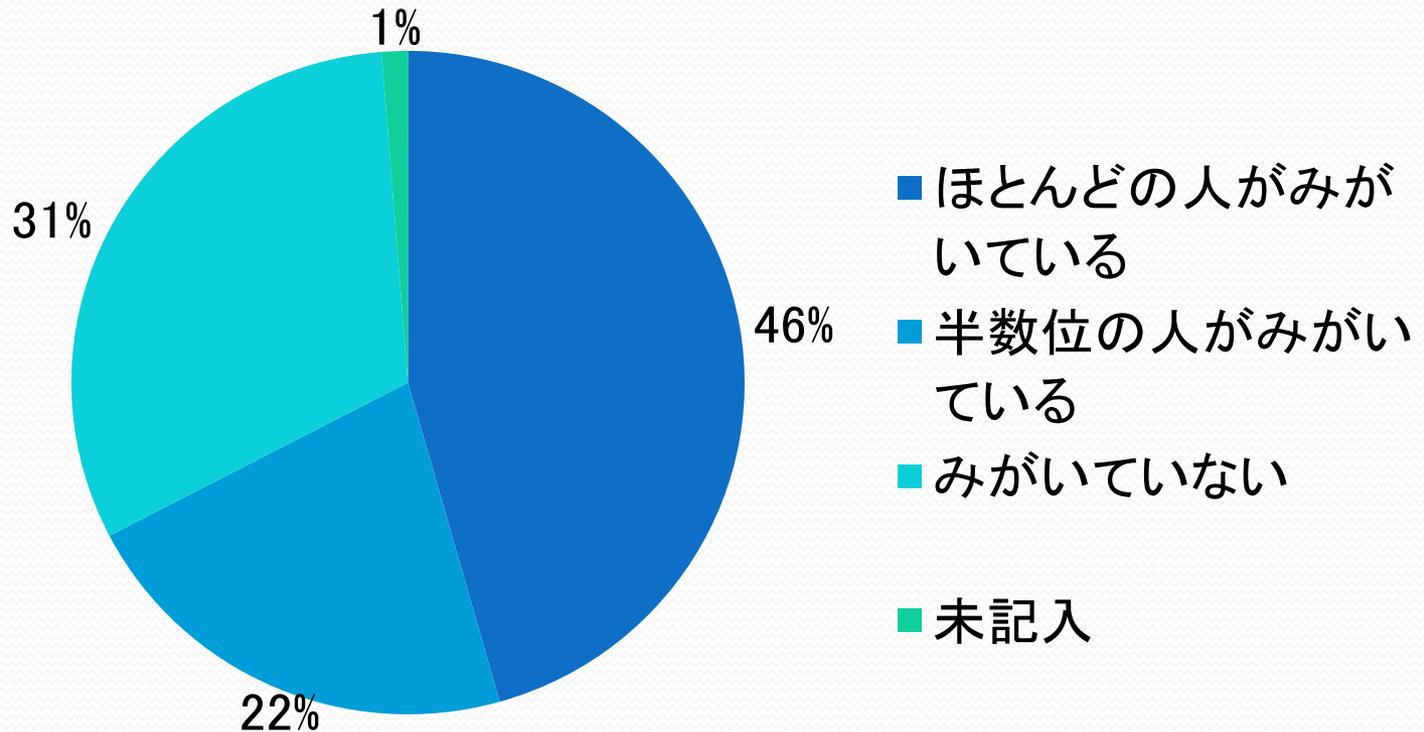


結果：相談できる歯科医院がない理由



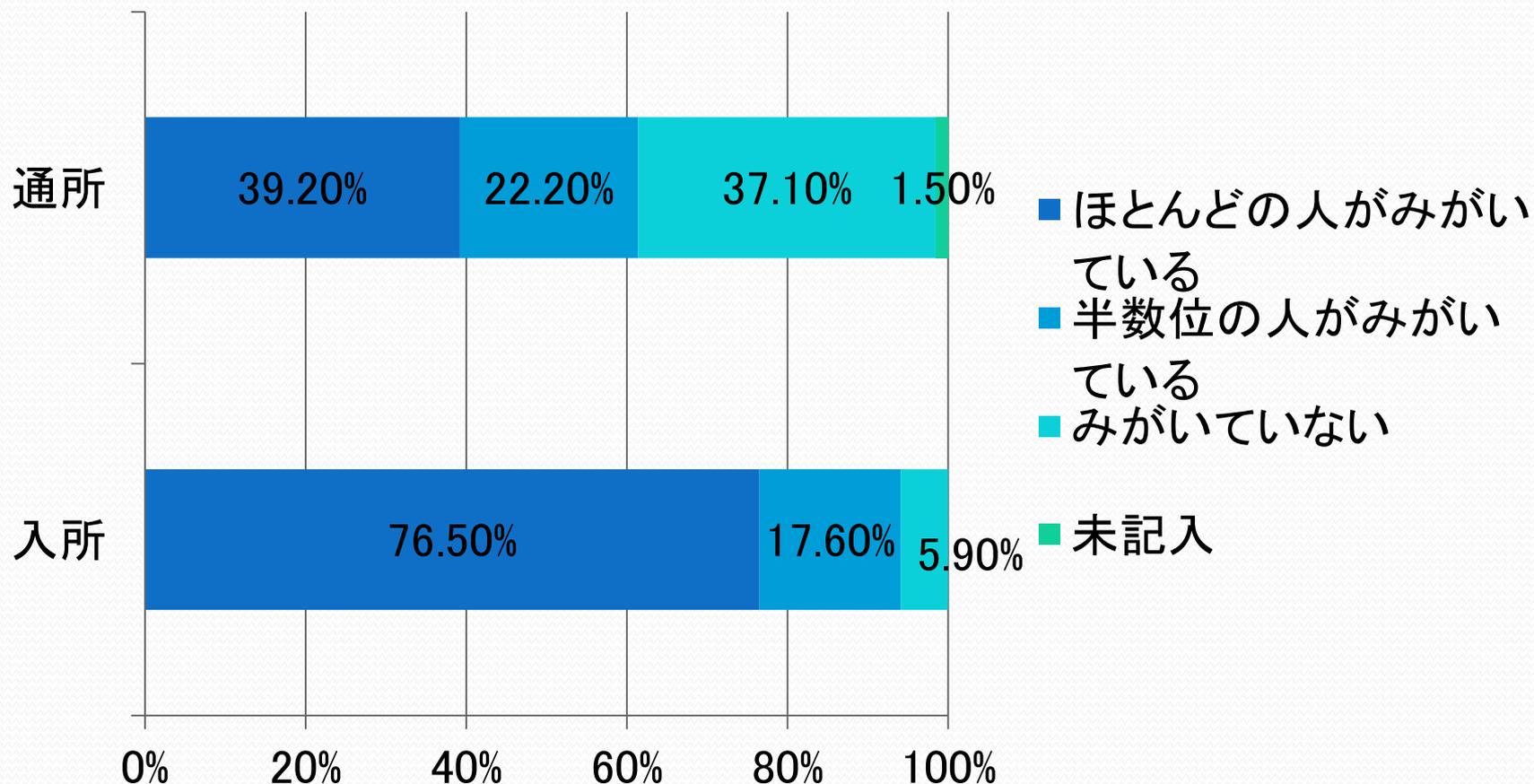
- 相談できる歯科医院がない139施設に理由を聞いたところ、その他（各自に任せている）が45.3%と最も多く、次いで相談する必要があるの25.2%であった。

結果：施設利用者による昼食後の歯みがき

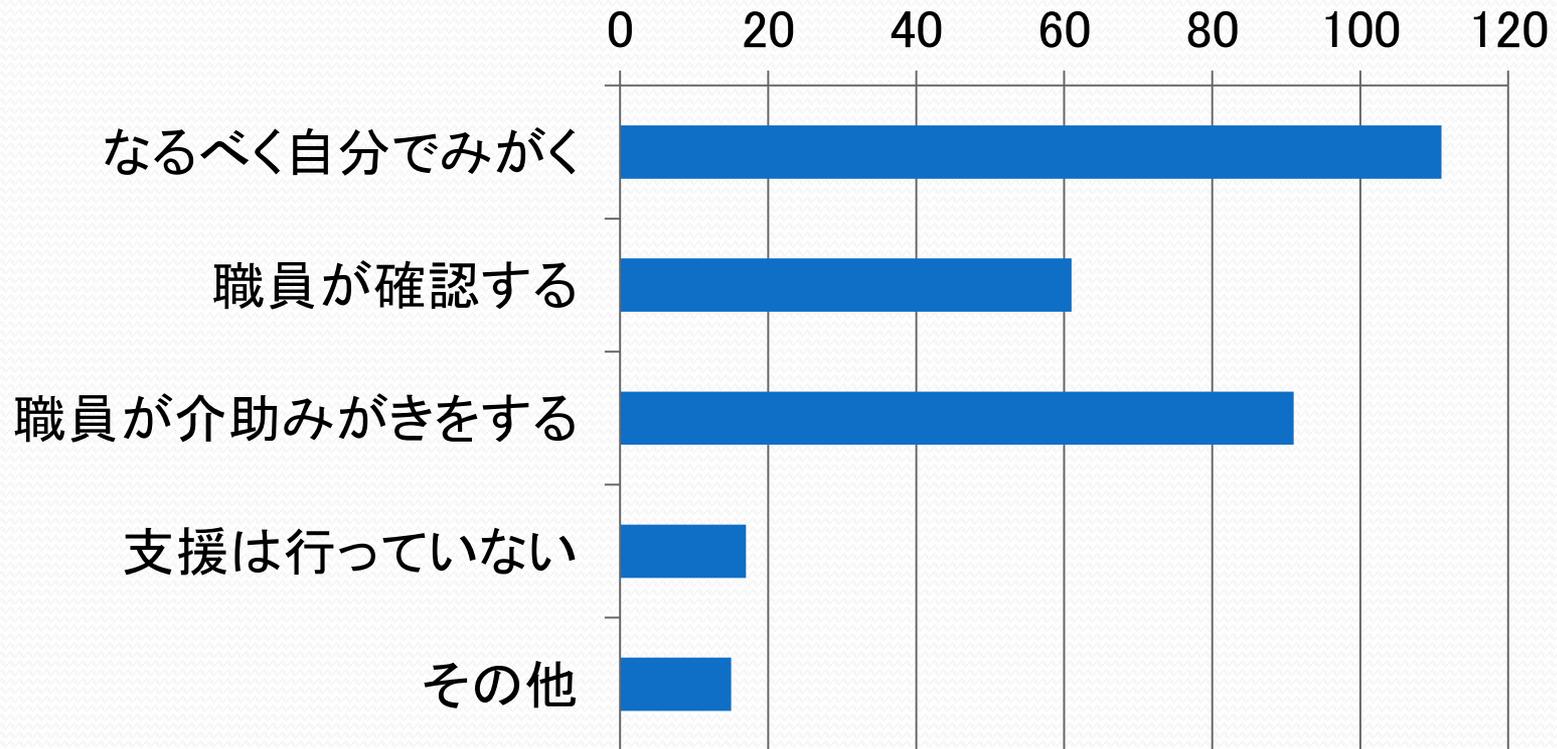


- 施設利用者による昼食後の歯みがきは、みがいている（ほとんど：45.6%、半分位：21.8%）が67.4%であり、みがいていないは31.4%であった。

結果：施設利用者による昼食後の歯みがき (入所施設と通所施設の比較)

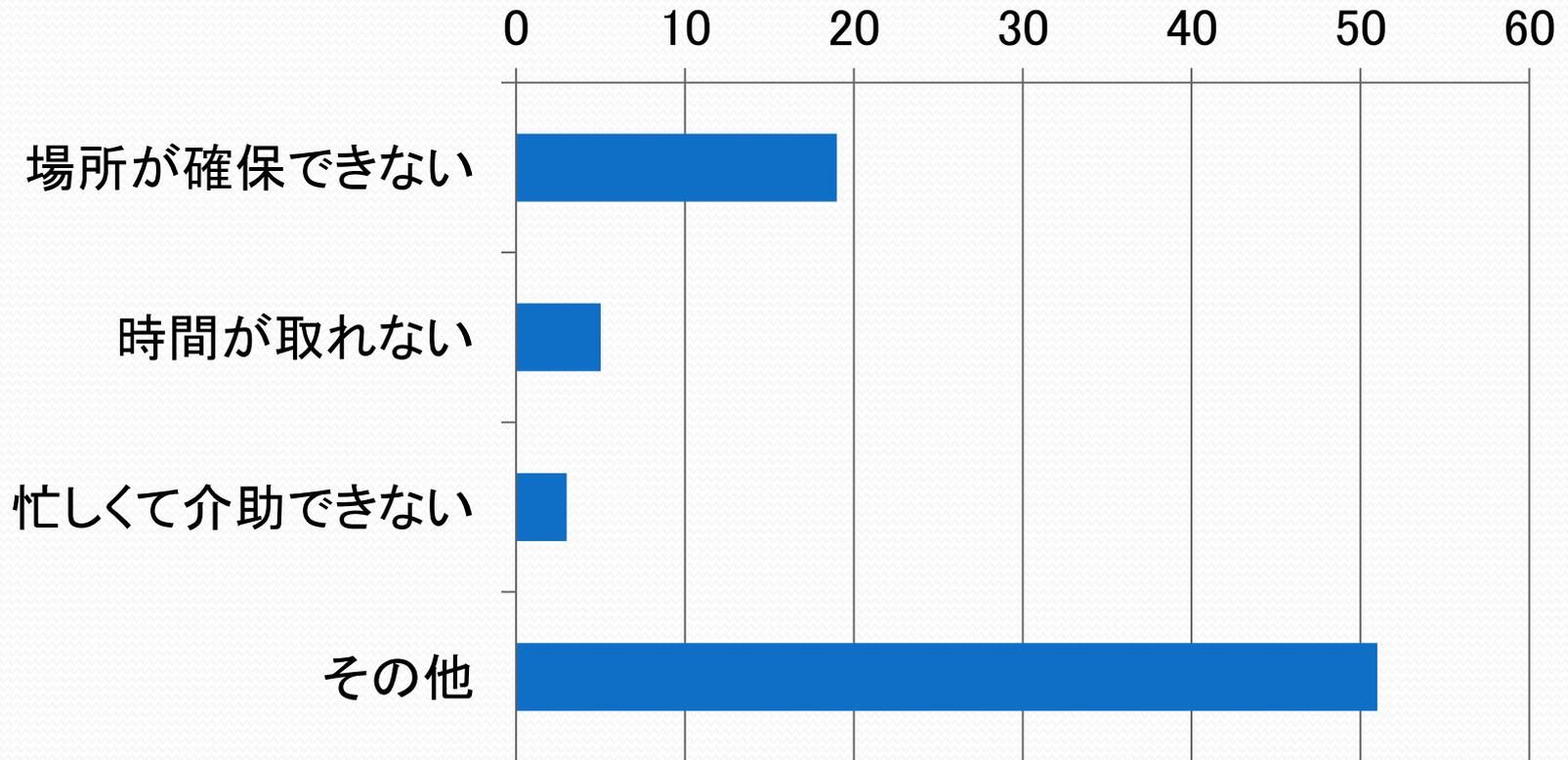


結果：施設職員による支援方法



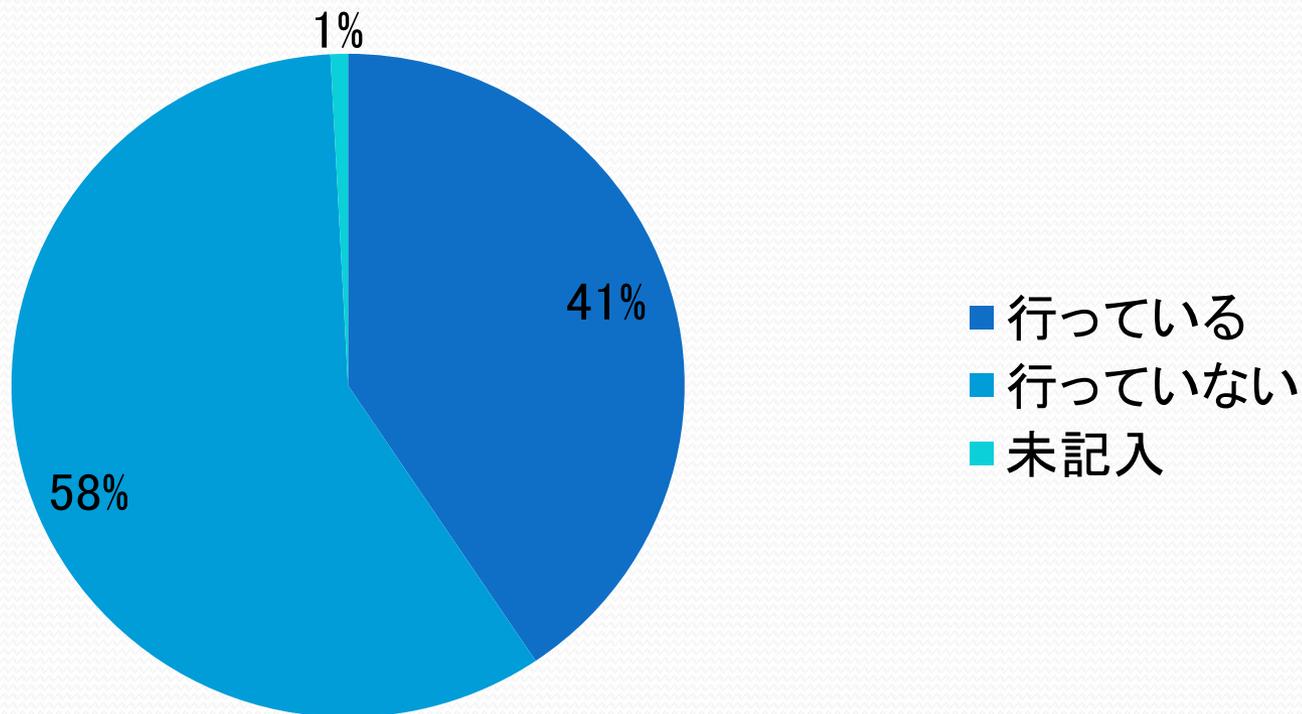
- 昼食後に歯みがきをしている161施設での支援方法は、なるべく自分でみがくが111施設と最も多く、次いで職員が介助みがきをするの91施設であった。

結果：昼食後の歯みがきをしていない理由



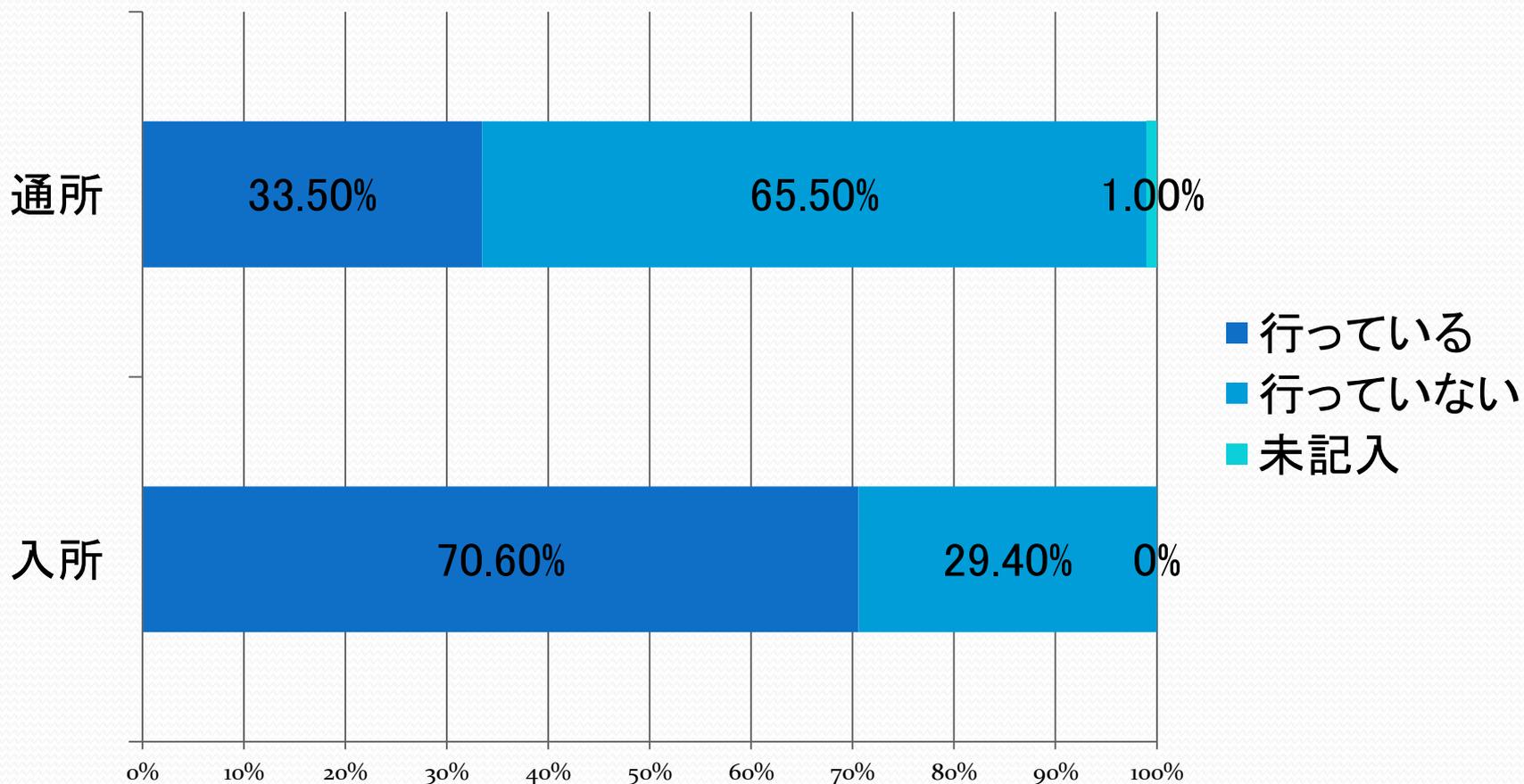
- 昼食後に歯みがきをしていない75施設に理由を聞いたところ、その他(習慣がない、希望がない、各自に任せている)が51施設と最も多かった。

結果：利用者に対する健康づくりの取組

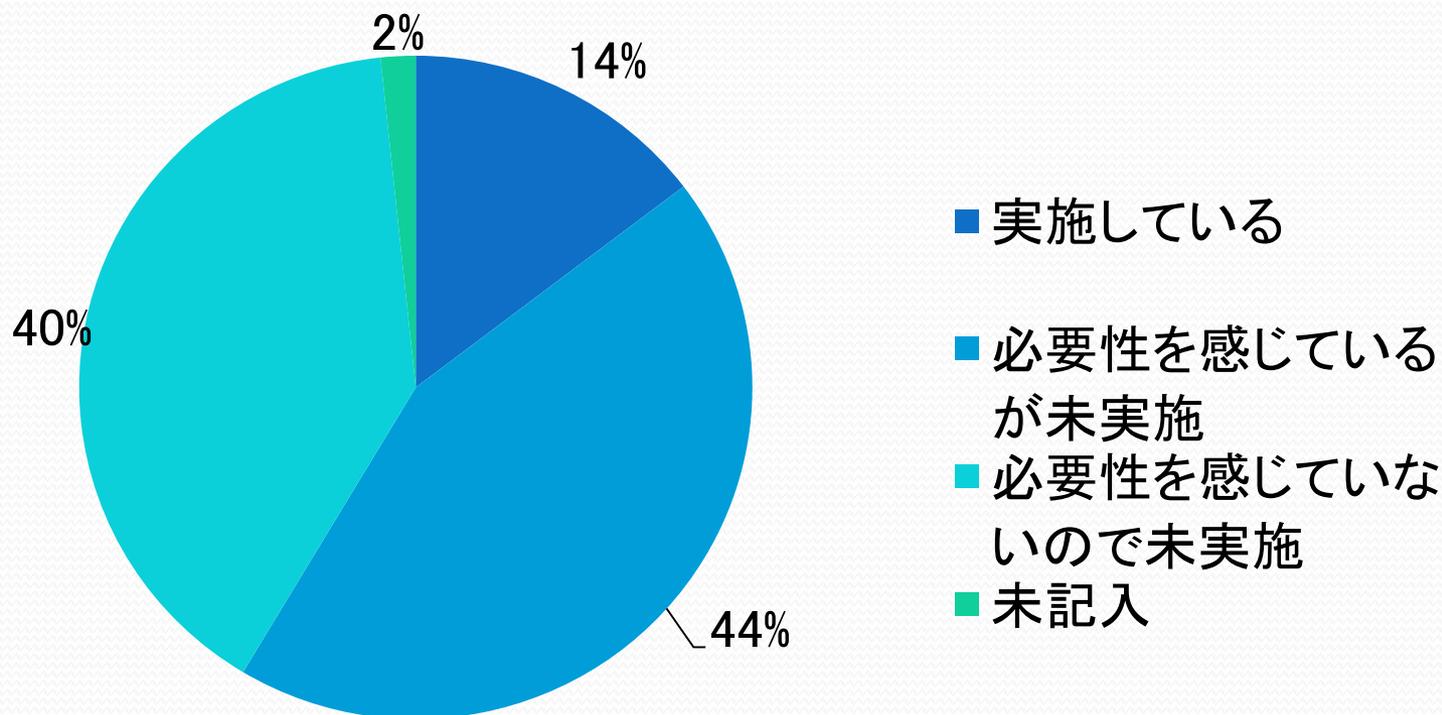


- 40.6%の施設で歯や口の健康づくりの取組が行われていたが、58.6%の施設では取組が行われていなかった。

結果：利用者に対する健康づくりの取組 (入所施設と通所施設の比較)

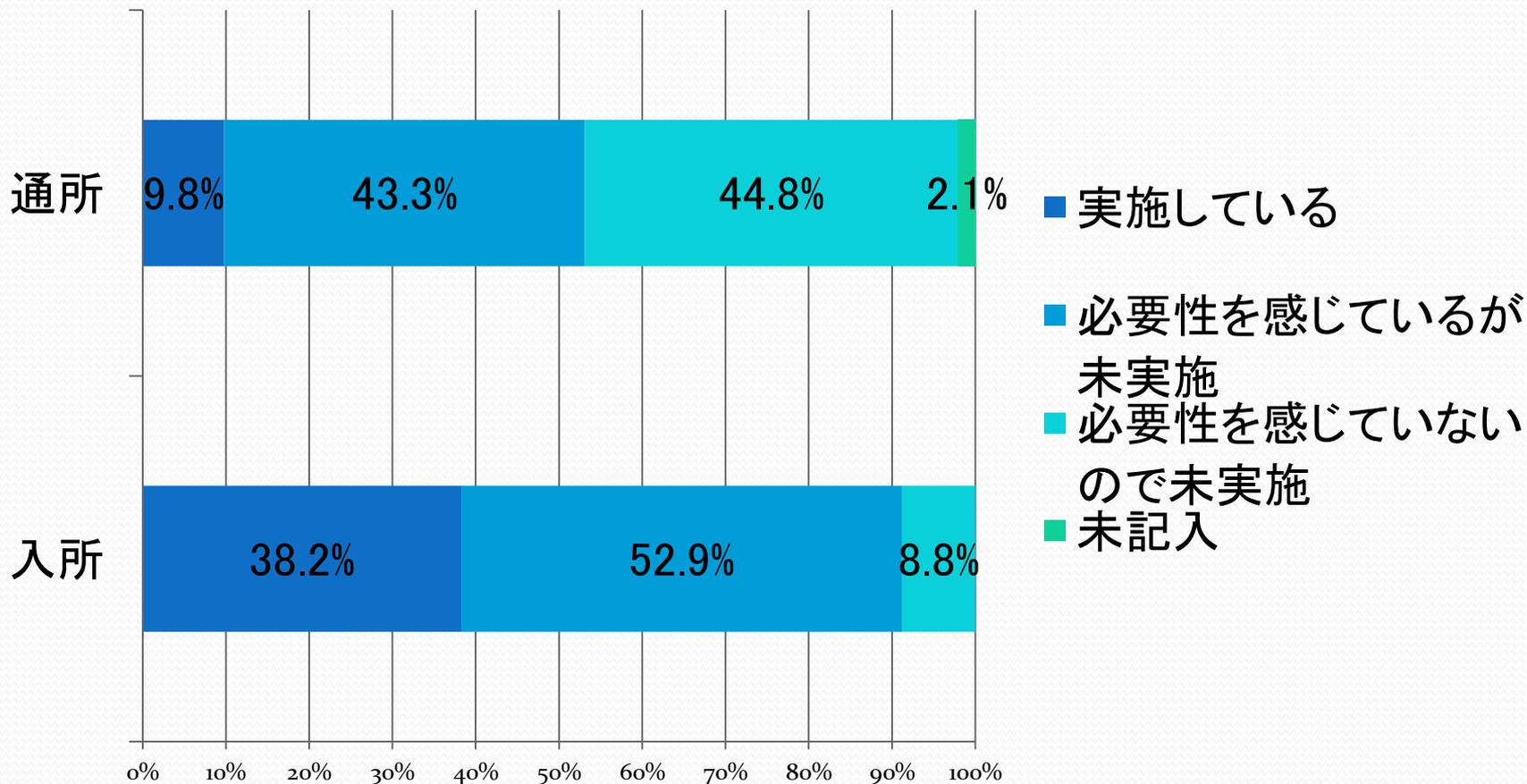


結果：職員向けの歯科保健に関する研修



- 職員向けの歯科保健に関する研修を実施しているのは35施設(14.6%)であり、200施設(必要性を感じる:105施設、感じない:95施設)は研修を実施していなかった。

結果：職員向けの歯科保健に関する研修 (入所施設と通所施設の比較)



障害者の口腔保健向上のために必要なこと (自由記載)

- 口腔衛生習慣の獲得
- 介護者による支援
- 歯科健診
- 適切な歯科医療受診
- 介護者等の研修
- その他